

資料編

資料編 目次

1 全体会議

- 1. 1 委員名簿-----資料編 - 1
- 1. 2 開催概要-----資料編 - 2

2 学区別会議

- 2. 1 学区別会議（第1回 合同学区別会議）-----資料編 - 3
- 2. 2 学区別会議（第2回～第4回）
 - ① 守山学区-----資料編 - 5
 - ② 吉身学区-----資料編 - 11
 - ③ 小津学区-----資料編 - 17
 - ④ 玉津学区-----資料編 - 24
 - ⑤ 河西学区-----資料編 - 31
 - ⑥ 速野学区-----資料編 - 38
 - ⑦ 中洲学区-----資料編 - 45
- 2. 3 参考
 - たからものマップ-----資料編 - 51
 - 市内を流れる河川の水網図-----資料編 - 58

1 全体会議

1.1 委員名簿

守山まるごと活性化プラン検討委員会 全体会議 委員名簿

(敬称略)

1	大崎忠男	商工会議所 会頭
2	河野伊一郎	岡山大学 名誉教授
3	小西由美子	公募市民（吉身4丁目在住）
4	杉田英子	JA おうみ富士 女性部
5	高野隆男	河西学区長（川中自治会）
6	高谷好一	京都大学 名誉教授
7	竹村 昇	公募市民（伊勢町在住）
8	谷口喜久	玉津学区長（赤野井自治会）
9	千代雅人	守山学区長（千代自治会）
10	中明子	NPO 法人 びわこ豊穰の郷
11	西田裕美	青年会議所
12	西村梯子	守山の女性たちによる女性の交流会 発起人（スペ・スウィン）
13	濱崎 一志	滋賀県立大学 地域文化学科教授
14	日下山靖幸	公募市民（小島町在住）
15	藤井絢子	環境省中央環境審議会委員（NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表）
16	舟橋和夫	龍谷大学 コミュニティマネジメント学科教授
17	布野修司	滋賀県立大学 副学長
18	本城眞佐一	中洲学区長（立田自治会）
19	三品長一郎	小津学区長（三宅自治会）
20	三宅和夫	吉身学区長（グラント・マンション守山自治会）
21	村上瞳	企業経営者
22	山岡龍二	速野学区長（材・ペラヴィータ守山）
23	葎本勝利	企業経営者

平成 25 年 5 月 28 日現在

1.2 開催概要

■第1回

日 時	平成 25 年 5 月 28 日（火）19：30～21：10
場 所	吉身会館
検討事項	守山まるごと活性化プランの検討方針について

■第2回

日 時	平成 25 年 10 月 3 日（木）19：30～21：30
場 所	吉身会館
検討事項	学区別会議における検討の状況について 学区会議の進め方について

■第3回

日 時	平成 25 年 12 月 16 日（月）19：30～21：10
場 所	吉身会館
検討事項	学区毎のプロジェクト（具体策）について まるごと活性化プランの内容構成について 今後の検討および策定の進め方について

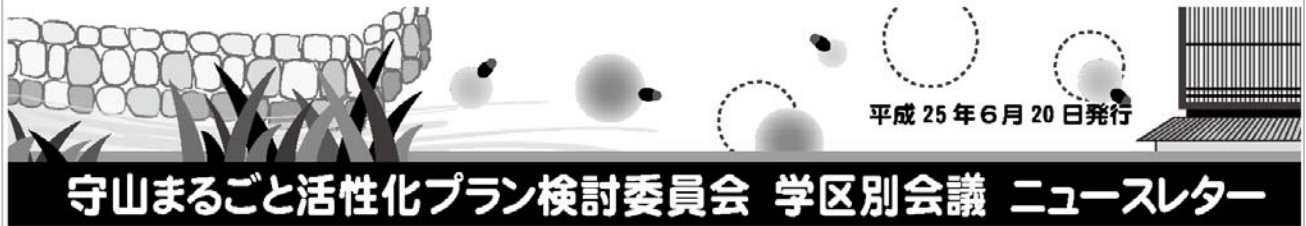
■第4回

日 時	平成 26 年 2 月 21 日（金）19：00～21：00
場 所	吉身会館
検討事項	まるごと活性化プラン（案）について 各学区説明会について

2 学区別会議

2.1 合同学区別会議

① 開催概要（ニュースレター）



第1回 合同学区別 会議

平成 25 年 6 月 15 日（土）午前 10 時から守山市民ホールにおいて、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 1 回学区別会議を開催しました。

「住みやすさ日本一」を実感できるまち守山を目指し、今後、学区ごとに分かれて、地域資源を活用した、市全体の活性化のためのプランを検討していきます。

このことから、第 1 回目は合同会議として、講演やパネルディスカッションを行い、活性化プラン策定の意義と検討の進め方について、みなさんと共有していただきました。

当日は学区別会議の委員の方を中心に約 200 名の方が参加されました。

■当日のプログラム

1 市長あいさつ

2 講演

- (1) 『日本一のまち守山、素晴らしい地域資源』

京都大学名誉教授 高谷 好一 氏

- (2) 『地域資源の発見と活かし方』

滋賀県立大学人間文化学部教授 濱崎 一志 氏

3 検討の進め方等の説明

4 パネルディスカッション 『守山まるごと活性化プラン検討の意義について』

コーディネーター： 滋賀県立大学副学長 布野 修司 氏

パネリスト： 高谷 好一 氏、濱崎 一志 氏、守山市長 宮本 和宏 ※ 内容（抜粋）



講演1 高谷先生のおはなし



- 守山には2つの良い点がある。ひとつは、美しい水辺や田園風景などの自然と、そこに住む人々の生き方が素晴らしい点。もうひとつは、日本一の弥生遺跡群であり国史跡指定の下之郷遺跡と伊勢遺跡が存在することである。日本の原風景であるこれらを軸に、日本のみならず世界に向けて活性化してはどうか。
- 守山には、我々日本人の歴史がある。守山を見れば日本の極相がわかるというものを作り上げるために、みんなで守山のことを一緒に考えて行ければと考えている。

講演2 濱崎先生のおはなし

- 地域を形づくる風土、歴史、自然、人も含めて地域資源として活用していくことになるが、文化財のように学術的な価値は高くなくても、普通の生活の中で人々の営みによって育まれてきたものを地域資源として見直し活用していくことが重要である。
- 高島市の針江という地区では、カバタを丁寧に調査することで文化的景観になった。集落としての景観は、決して派手ではないが多くの人が訪れている。地域資源を上手く活用して集落の活性化に活かすと、地域に対する愛着も変わってくる。地域にある歴史的・自然的なものの活用を学区別会議の中で考えていただきたい。



パネルディスカッション

滋賀県立大学副学長の布野先生をコーディネーターにパネルディスカッションが行われ、学区別会議を進める上でのアイデアなどについて討論されました。

会場からは、「地域の個性をどう活かすかがポイントであり、個性をつくることも大切である。」「プラン作成後も、継続的に市民が関心を持ち、議論を続けていくものであってほしい。」といった意見や、「50年100年先を見据えての計画であるので、若い年齢層の人が参画できるように、インターネットを活用した意見募集を検討してはどうか。」といった意見が出ました。



■ 高谷 氏

- 田園都市として美しい水辺や農村が十分に活かされ、その上で日本はもちろん海外にも開けたまちが理想である。日本人の原点は守山の弥生にあると確認したい。
- まるごと活性化プランをスタートとして、時間をかけて取り組みを継続することが必要である。大事なことは、それぞれが自分の持ち分で議論をすることである。



■ 濱崎 氏

- 旧街道沿いの景観をどう活かしていくかがひとつのテーマとなる。中山道守山宿周辺に残る古い建物はかなり危機的な状況である。一度失ってしまうと永遠に復元できないため、個人所有の建物をこのプランの中で活かすことはできないかと考えている。また、琵琶湖との関わりも深いので、水路と舟運もひとつのポイントになると考えている。
- 例えば、学区別会議に学生を参加させ、外の目線を加えることも考えられる。しかし、本プランは、地域のことを一番良く知っている地元の方の意見をどう積み上げて集約するかに尽きる。



■ 宮本市長

- 守山は、都市、農村、漁村が共存しているという点で、日本でも希有な存在である。
- また、古くから琵琶湖や野洲川の恵みによる肥沃な土地、豊富な水、魚や食物に困らない土地であった。日本の中でも、こんなに住みやすいところは他になかったのではないか。歴史的にも、古代から近代に至るまでの様々な蓄積がある。琵琶湖、カバタや伏流水など豊富な自然資源も含めて、まずしっかりと整理し、地域でひとつずつ発掘していただきたい。
- プランを作成して終わりではない。作成後も継続して地域の皆さんが関わるような、将来に渡る基礎をつくる大切な取り組みであると考えている。



■ 布野 氏

- 全学区が参加して、市全体の活性化を考えると、かなりユニークな取り組みで、日本一の仕組みになる可能性を持っている。
- 災害時には、コミュニティ（学区）の力が問われると思っている。今回、地域の中で議論をしていただくことは、地域の力として、ぜひたいに財産になると思っている。
- 最後には、楽しい活気あるプランがまとまることを願っている。



■ お問い合わせ
守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号
TEL: 077-582-1162 e-mail: miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp

2.2 学区別会議（第2回～第4回）

① 守山学区

(1) 委員名簿

守山まるごと活性化プラン検討委員会学区別会議(守山学区)委員名簿
敬称略

No.	自治会名	名前
1	今宿	原田 稔
2	今宿	樋口 知孝
3	今宿	石川 博敏
4	泉町	堀井 隆彦
5	泉町	堀井 直晃
6	本町	和田 信雄
7	本町	小島 朋毅
8	梅田町	井上 純作
9	梅田町	竹村 祐輔
10	勝部	藤本 律男
11	勝部	小島 良和
12	勝部	舟橋 光義
13	焰魔堂	伴野 正二
14	焰魔堂	宇野 実
15	千代	千代 雅人
16	千代	小中 繁
17	阿村	竹中 輝雄
18	伊勢	園田 耕三
19	伊勢	田中 貞明
20	二町	筈井 治夫
21	二町	相宮 青一
22	古高	今井 和雄
23	古高	梅景 安夫
24	大門	中島 勤治
25	横江	尾田 隆
26	弥生の里	仁平 宏
27	大鳥	藤山 直久
28	大鳥	澤井 良介
29	サムズ守山	弘光 由美

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・竹村隆夫 ・小島秀晃 ・高橋和也
- ・坪内稔夫 ・吉原史雄 ・足立慎也
- ・田淵誠一 ・貞松純子 ・前田雅人

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 8 月 1 日 (木) 19 : 30~21 : 30
会 場	守山会館
出 席 者	住民 25 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 9 月 5 日 (木) 19 : 30~21 : 30
会 場	守山会館
出 席 者	住民 20 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 10 月 10 日 (木) 19 : 30~21 : 30
会 場	守山会館
出 席 者	住民 18 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

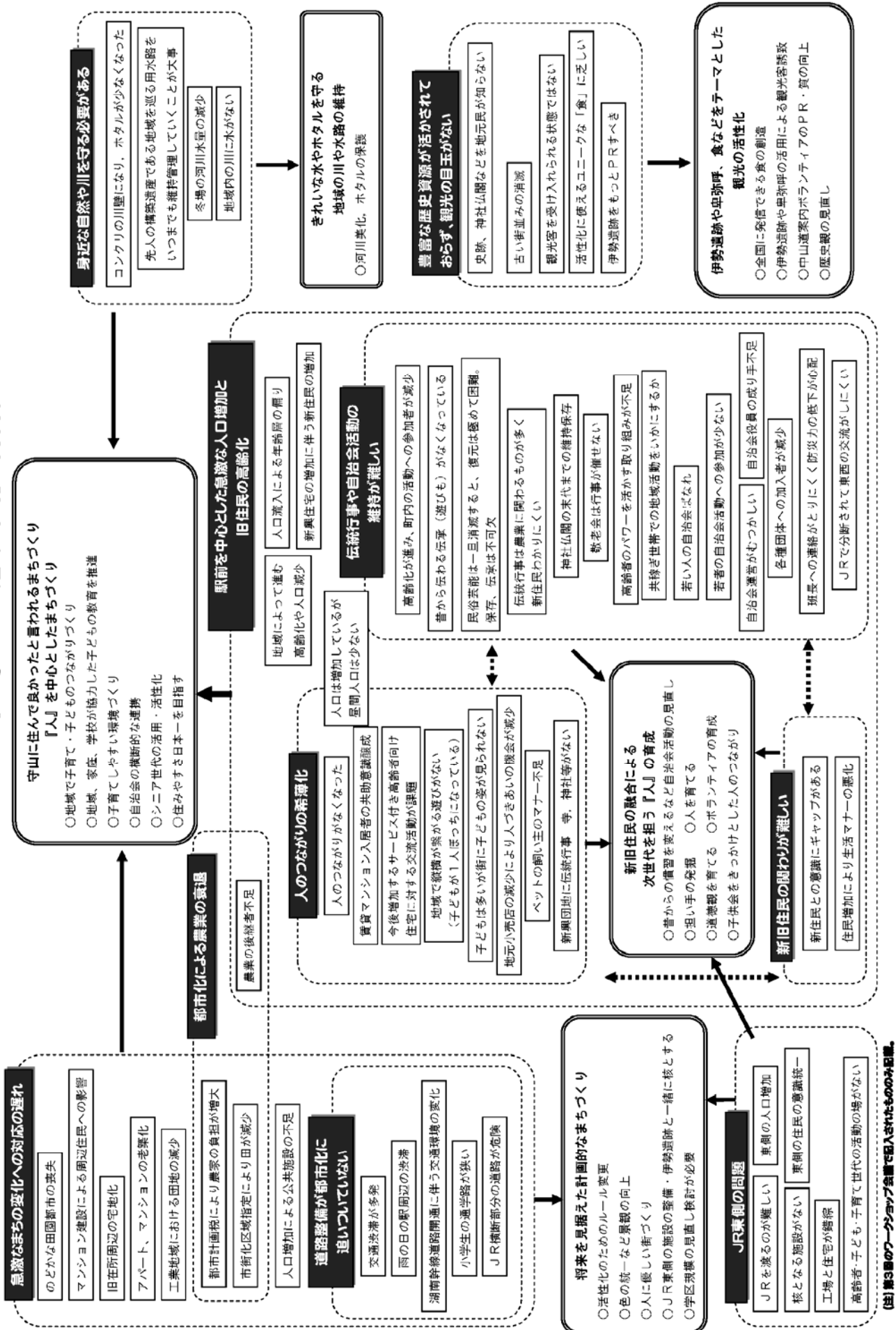
日 時	平成 25 年 11 月 14 日 (木) 19 : 30~21 : 30
会 場	守山会館
出 席 者	住民 20 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 23 日 (木) 19 : 30~
会 場	守山会館
出 席 者	住民 26 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

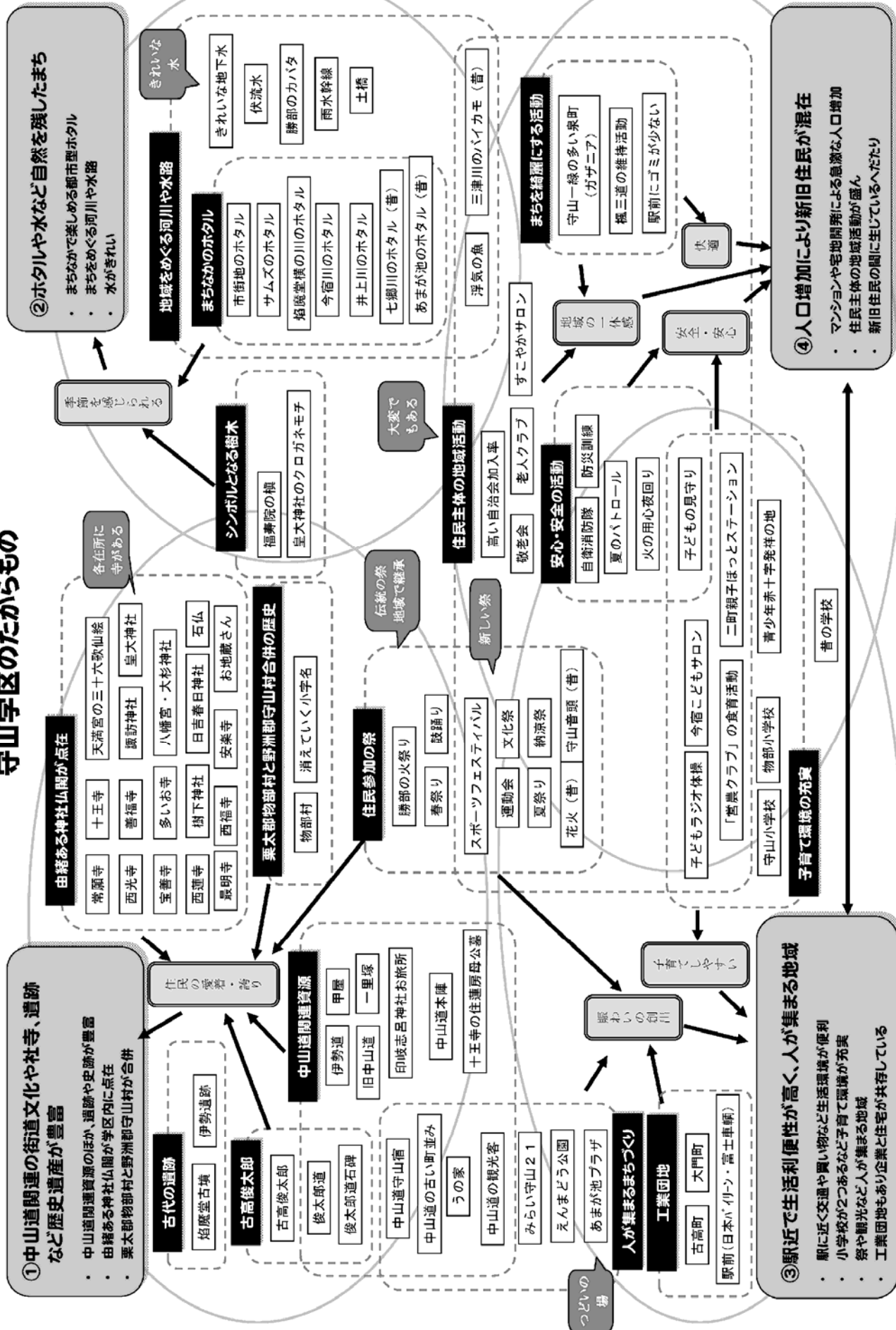
守山学区の課題・活性化の方向性

(3) 課題一覽



(注) 第3期のワークショップ結果で記入されたもののみ記載。

守山学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ企画で記入されたもののみ記載。

(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 自治会魅力向上プロジェクト

人口増加や旧住民の高齢化に伴い、年々自治会運営が難しくなっているため、自治会のあり方や活動内容を見直し、共働き世帯や高齢者など誰もが無理なく参加できる自治会活動づくりを進めます。

●取り組み1 自治会運営・体制の見直し

自治会活動を考える会を立ち上げ、自治会のあり方や運営方法を改善し、地域の特性を活かした活動を検討／自治会活動の横断化と連携

●取り組み2 誰もが参加できる自治会活動づくり

新住民に自治会活動をPRし、自治会への周知と理解を促進／新旧住民による新しい文化の創造

プロジェクト2 人がつなぐ子育て応援プロジェクト

新住民を中心に増加している子育て世代では、子どもを始め親世代も人のつながりが希薄化しているため、地域で積極的に子育てに関わり、子育てしやすいまちを目指します。

●取り組み1 地域による子育て支援

地域、家庭、学校が協力した子どもの教育推進／子育て環境づくりで、守山学区を子育て推進地域に指定／シングルマザー・ファーザーへの支援／子ども同士のつながりから、親世代へと人のつながりを拡大し、まちづくりの参加につなげる

●取り組み2 寺小屋の復活

学校では教えてくれない地域のことや言い伝えを寺院で子どもたちに教える

プロジェクト3 子どもたちへの語り部プロジェクト

人口増加に伴い、子どもたちが増えているにも関わらずまちに子どもの姿が見られなくなるなど、子どもたちの遊び場が減少し、子どもの頃からの地域とのつながりが薄れつつあります。守山の良さや歴史を語り継ぎ、次世代を担う子どもたちを地域で育成する仕組みをつくります。

●取り組み1 子どもたちの遊びの確保

鎮守の森などを子どもたちが安心して遊べる場として活用し、昔から伝わる遊びや伝承を継承する

●取り組み2 次世代を担う子どもたちに伝承

シニアパワーを活用し、学区の歴史や地域の遊びを子どもたちに語り継ぎ、子どもの頃から地域への愛着を醸成／ボランティア体験などで道徳観を育てる

プロジェクト4 安心・安全の住みやすさ日本一プロジェクト

誰もが安心して住み続けられるような守山学区を目指すために、高齢者の居場所づくりや、助け合いの活動など、住民主体の仕組みづくりを進めます。

●取り組み1 住民によるセーフティネットの構築

命のバトン制度の早急な整備／高齢者を中心とした住民の居場所づくり

●取り組み2 安心・安全活動の強化

スクールガードやパトロールの強化／通学路など危険な道路を住民目線で点検し、行政と一体となって整備する

プロジェクト5 水とホタルから輝くプロジェクト

多くの水路や川がめぐり、ホタルが舞うことが守山学区の大きな特徴となっています。これらの身近な宝ものを地域で保全・保護し、水とホタルを中心に、高齢者から子どもまで誰もが参加できるコミュニケーション活動を展開します。

●取り組み1 水とホタルを中心としたコミュニケーション活動

水路や川を活用したホタル保護活動や川に親しむ遊びやイベントの創出／ホタル週間の設定／住民の地道なボランティア活動を知ること、地域の水や自然、自分たちのまちを守る意識を醸成

●取り組み2 水に親しむ活動の実施

子どもたちによる水に親しむ活動の実施（魚釣り、美化活動、生態系の維持活動）

●取り組み3 ホタル保護・水環境保全のためのルールづくり

タバコ喫煙規制や除草剤散布規制の条例化など、ホタル保護・水環境保全のためのルールづくり

プロジェクト6 守山の歴史・伝統文化再発見プロジェクト

中山道関連資源、伊勢遺跡、多くの神社仏閣や祭など、守山学区には外から見ると羨むような歴史資源や伝統文化が豊富に存在します。まずは地域住民がこれらを知ることから始め愛着を持つ仕組みを検討するとともに、地域内外の交流を生み出すほか、地域の魅力向上と活性化を図ります。

●取り組み1 伊勢遺跡を活用した観光活性化

建物の復元など伊勢遺跡を整備し、伊勢遺跡と中心市街地を結ぶ人の流れを生み出す／伊勢遺跡と中山道を卑弥呼でつなぐ観光の活性化

●取り組み2 歴史資産や伝統行事の活用・PR

宿場町として江戸情緒を全面に押し出した施設づくりやイベントを計画／火祭りや鼓おどりなどの無形文化財の継承支援のために、祭に使用する小道具類を保管展示するとともに見学者に案内や説明

●取り組み3 中山道案内ボランティアの向上

中山道案内ボランティアの内容充実とサービス向上、範囲の拡大等に挑戦し、地域の活性化を目指す

プロジェクト7 シニアの底力活用プロジェクト

地域に眠るシニアのパワーを発掘し、活躍の機会を提供することで、積極的に高齢者もいきいきと活動できる場をつくります。

●取り組み1 交流の場づくり

高齢者が集い楽しめる人づくりの場の整備

●取り組み2 活躍の場づくり

青空市場など手作り手芸品や農産物の販売場所の提供／地域の歴史や伝統の遊びを伝え、地域の愛着につなげるなど、シニアパワーを活かせる地域の取り組みを考える

●取り組み3 シニアパワーの発掘・育成

地域や歴史の語り部や子どもたちに伝統や生活文化を教える人材を発掘し、育成する

プロジェクト8 全国に発信できる食の創造プロジェクト

守山ならではの食文化に乏しいことから、目玉となるような土産物やわざわざ食べに来てもらえるような全国に発信できる商品を開発し、地域の活性化や観光の活性化をめざします。

●取り組み1 守山ならではの食の開発

地元の食材を使ったスイーツや土産物の開発／綺麗な水を活用した酒造り

●取り組み2 B級グルメの発掘

地元のレストランや食料品店によるB級グルメの発掘や、情報の発信

プロジェクト9 JR東側活性化プロジェクト

JRで学区の東西が分断されており、人口が増加しているJR東側にはコミュニティ活動の拠点がないことから、住民のまちづくりや意識づくりの活動拠点の整備を進めるとともに、東西の人や活動の交流を促進します。

●取り組み1 活動拠点の整備

高齢者や子育て世代、若手などが集えるまちづくりや意識づくりの拠点の整備

●取り組み2 伊勢遺跡を活用した東西の交流

日本の歴史を大きく変える貴重な伊勢遺跡を有効活用し、まちづくりや人づくりなど東西の交流を進める。

プロジェクト10 地元工業と一緒にまちづくりプロジェクト

企業（工場）と住宅が共存していることが守山学区の特徴であることから、住民は学区内にある工場等を理解し身近に感じ、工場は地域の一員としてともにまちづくりに取り組めるように、コミュニケーションの機会を設けるなど交流の場づくりを進めます。

●取り組み1 工場見学会の開催

地元の工場を理解し身近に感じるため、工場見学会を開催

●取り組み2 工場とタイアップしたまちづくり

地元の工場とタイアップしたまちづくりの検討

② 吉身学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(吉身学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	元町	林 暹
2	元町	三嶋 一博
3	元町	松下 浩
4	下之郷	林 静雄
5	下之郷	富樫 孝
6	吉身西町	吉村 隆史
7	吉身西町	永治 紀雄
8	吉身西町	松下 正信
9	吉身中町	宮川 良知
10	吉身中町	森川 勝
11	吉身中町	南條 博志
12	吉身東町	小西 由美子
13	吉身東町	千代 照男
14	吉身東町	山本 法子
15	レックス貳番館	山田 景一
16	レックス貳番館	日置 眞由美
17	岡	高橋 勝美
18	岡	竹原 壽良
19	岡	渡辺 慎一
20	立入	奥村 利明
21	立入	山川 良和
22	立入	四辻 厚
23	浮気	中嶋 彰
24	浮気	保良 勝
25	浮気	奥村 健三
26	グラントメゾン守山	三宅 和夫
27	グラントメゾン守山	灰谷 章夫
28	グラントメゾン守山	森田 要一

事務局

- ・ 濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・ 西井秀隆 ・ 西木 弘 ・ 柿本勝幸
- ・ 坪内稔夫 ・ 足立慎也
- ・ 田淵誠一 ・ 義浦慶子 ・ 山田 憲

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 7 月 24 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	吉身会館
出 席 者	住民 25 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 8 月 30 日 (金) 19 : 30~21 : 30
会 場	吉身会館
出 席 者	住民 24 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 10 月 2 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	吉身会館
出 席 者	住民 20 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

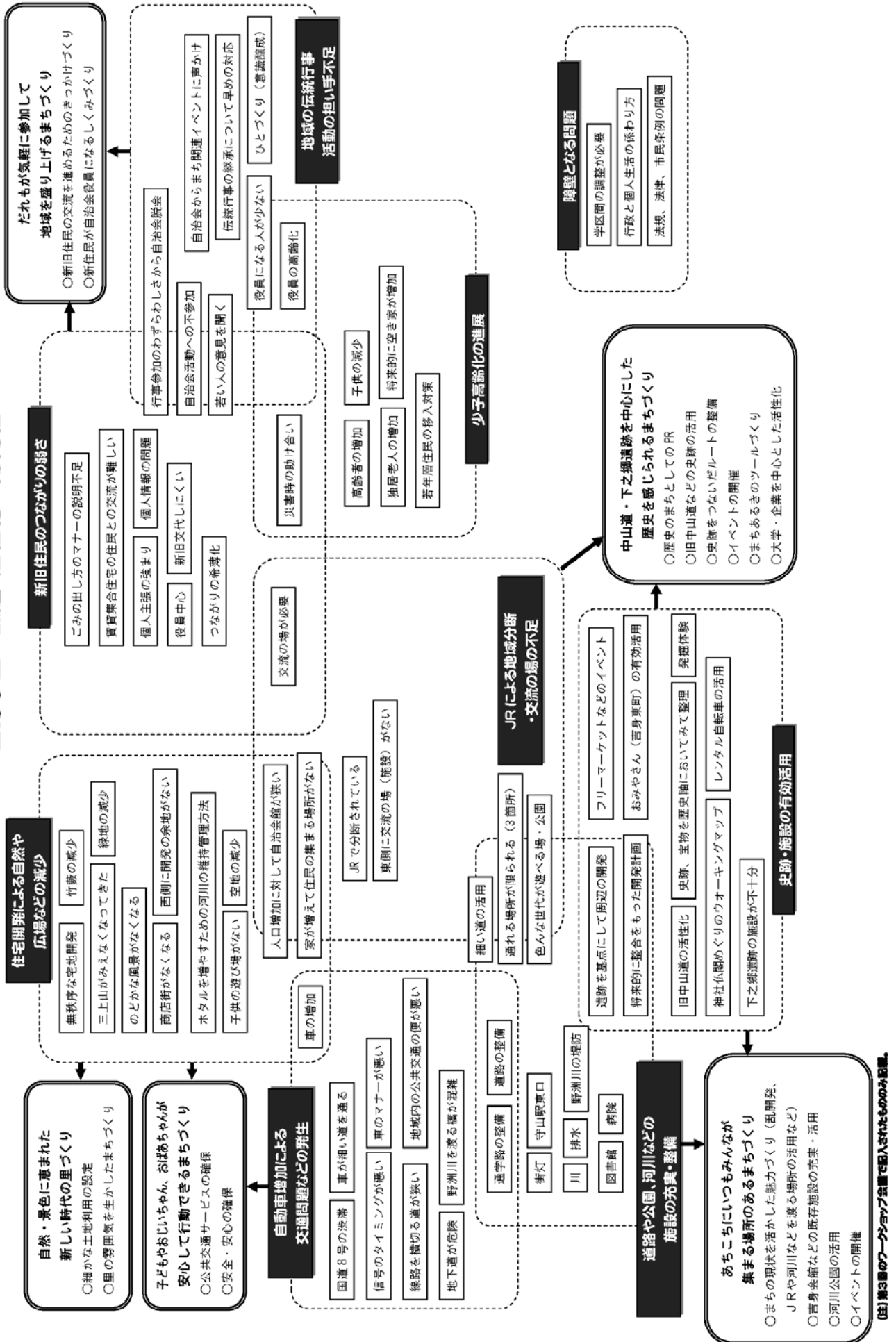
日 時	平成 25 年 11 月 11 日 (月) 19 : 30~21 : 30
会 場	吉身会館
出 席 者	住民 20 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 27 日 (月) 19 : 30~
会 場	吉身会館
出 席 者	住民 28 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

吉身学区の課題・活性化の方向性

(3) 課題一覽



(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 ホタルを守ろうプロジェクト

吉身学区には、今宿川や石田川、立入水源地など、豊富な水資源を有しており、その水辺にホタルやハリヨなどが生息しています。守山市のシンボルでもあるホタルを、学区内で育成するための仕組みづくりや環境整備を行い、ホタル観賞観光客を呼び込む仕掛けをつくりまします。

●取り組み1 ホタルを守るための仕組みづくり

地域でのホタルに関する勉強会や観察会の開催／ホタルが育つ環境づくり活動の実施 など

●取り組み2 ホタル祭りの開催

守山地区のホタル祭を吉身学区まで拡大／全国的にホタル祭りをPRして、市民が誇れる全市的行事に拡大など

●取り組み3 水辺の遊歩道づくり

JR守山駅を起点としたホタルロードの整備

プロジェクト2 自然を大切にしようプロジェクト

宅地開発の進展により、吉身学区に残された自然が貴重なものとなってきています。このため、田畑や川などの残された自然を活かし、イベントの開催や既存施設のリニューアルなどにより、地域が自然と親しみ、守り育てるための仕組みをつくりまします。

●取り組み1 自然を大切にするための仕組みづくり

地域に分布している田畑や川、生息している動植物をとりまとめた自然マップの作成／勉強会・観察会の開催／自然保全活動の実施（ごみ拾い・雑草抜きなど）

●取り組み2 自然と親しむイベントの開催

川遊び・魚つかみなどの開催

●取り組み3 自然を親しむ環境づくり

散歩道の整備／水資源を活かした既存公園のリニューアル／地域を流れている河川の名前の表示徹底

プロジェクト3 河川敷公園多目的広場を核とした健康づくりプロジェクト

野洲川沿いに整備されている河川敷公園多目的広場をフル活用するほか、地域の人々が健康に暮らしていくために、施設の予約システムの構築やウォーキングコースの整備により施設を使いやすくするほか、スポーツなどを通じて地域の交流を深めます。

●取り組み1 施設をフル活用する仕組みづくり

テニスコートなどの既存施設の予約システムの構築／バーベキューサイトの構築／ウォーキングコースの整備／グランドゴルフ用具などの貸し出し

●取り組み2 アクセスしやすい環境づくり

自転車道の整備

●取り組み3 イベントの開催

スポーツ大会（ソフトボール、サッカーなど）の開催

プロジェクト4 ふれあい公園すくすくプロジェクト

野洲川沿いに整備されているふれあい公園を子ども中心とした活動の場とするために、イベントの開催などにより、子育て世代をはじめとした地域の交流の場・憩いの場をつくりまします。

●取り組み1 イベントの開催

フリーマーケットの開催／エコワークショップの開催

●取り組み2 子どもが楽しく遊べる場づくり

子ども会・子どもサークルの活動拠点としての位置づけ／遊具の設置

プロジェクト5 つどいの場を盛り上げるプロジェクト

吉身学区にある公園や広場、自治会館などの既存施設をさらに活用するために、イベントの開催やあつまりやすい場をつくることにより、世代間や新旧住民の交流を促します。

●取り組み1 新たなイベントの開催

フリーマーケットの開催／餅つき大会の開催／イルミネーションの飾り付け／定期的にみんなでまちを歩く

●取り組み2 集まりやすい場づくり

公園における芝の整備／ゆとりある施設の整備

●取り組み3 既存施設の名称表示

道路に名称をつける

プロジェクト6 下之郷遺跡・拠点化プロジェクト

全国的に誇れる国史跡である下之郷遺跡を重要な地域資源として活用するとともに、地域住民やボランティアが主体となって活用方策の検討、維持管理を行うことにより、地域のまちづくり活動の担い手の育成の場としての利用を進めます。

●取り組み1 下之郷遺跡を活用した住民主体の憩いの場づくり

下之郷遺跡を住民の憩いの場として活用／住民が主体となったまちづくり拠点としての活用方策の検討／地域住民・ボランティアによる維持管理・運営

●取り組み2 下之郷遺跡を軸とした交流活動の活性化

下之郷遺跡を地域文化や歴史の学びの場として活用／史跡の保存活用とともに観光資源としての活用／発掘体験やウォーキングイベントなどのイベントの実施

プロジェクト7 中山道を軸とした観光促進プロジェクト

うの家をはじめとする高札場跡や酒八など、中山道に関連する史跡が吉身学区及びその周辺の学区に多く残っていることから、それらを活用し、中山道について学区内外の人によく知ってもらうとともに、住民が地域に誇りをもって、次代に引き継いでいける仕組みをつくりまします。

●取り組み1 中山道ウォーキングコースの設定、マップの作成・配布

中山道に関連する史跡を抽出、ウォーキングコースを設定／各史跡についての解説を整理し、ウォーキングコースとともにとりまとめた中山道ウォーキングマップの作成・配布

●取り組み2 中山道ウォーキングイベントなどの開催

中山道ウォーキングコースを活用したイベントの実施／中山道ウォーキングコース上でのフリーマーケットの実施

プロジェクト8 吉身の歴史・伝統をつなぐプロジェクト

下之郷遺跡や中山道のほか、新川神社や東福寺、慈眼寺、馬路石邊神社などの数多くの神社・仏閣、歴史文化資源を活かし、吉身の魅力を学区内外の人によりよく知ってもらうとともに、住民が地域に誇りを持ち、歴史・伝統・文化を次代に引き継ぐ仕組みをつくりまします。

●取り組み1 歴史・伝統文化の語り部の育成と活躍の場づくり

文献整理、写真記録、言い伝えの掘り起しなどによる情報整理と共有化

●取り組み2 吉身まちあるきコースの設定、マップの作成・配布

吉身学区に点在する史跡を抽出、まちあるきコースを設定／まちあるきコースを明示したマップの作成・配布

●取り組み3 吉身まちあるきイベントなどの開催

吉身まちあるきコースを活用したスタンプラリー・除夜の鐘つきツアーなどのイベントの実施／定期的なイベントの開催

プロジェクト9 祭りだ！わっしょいプロジェクト

若い人にも地域活動に参加してもらうほか、JRにより分断されている地域間の交流を促すために、伝統ある祭りや学区民の集いなどのイベントをリニューアルや工夫することにより、地域を盛り上げるイベントになるよう推進します。

●取り組み1 学区民のつどいのリニューアル

開催会場の持ち回り（吉身小学校のほか、立入小学校での開催）／若い人が楽しめるような内容の見直し

●取り組み2 伝統ある行事を盛り上げる

住吉の火祭りを勝部の火祭りと共同して盛り上げる／若い人の参加を促す仕組みの構築

●取り組み3 吉身の行事・イベントのPR

イベントの趣旨やみどころ、内容などのPR／ゆるキャラの設置

プロジェクト10 守山駅周辺につどうプロジェクト

JRにより分断されている吉身学区の拠点となっている守山駅周辺にあるセルバやコミュニティホールなどの既存施設を活用し、サロンやカフェの設置やイベントの開催により、地域の交流の場・憩いの場をつくりまします。

●取り組み1 交流の場づくり

サロンやカフェの設置／趣味教室などのクラブの立ち上げ、クラブ活動

●取り組み2 クラブによるイベントの開催

展示会の開催／ワークショップの開催 など

③ 小津学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(小津学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	金森	沢井 進一
2	金森	寺田 恭章
3	金森	堀 家隆
4	三宅	三品 長一郎
5	三宅	田中 昇治
6	三宅	田中 健一
7	大林	中西 雅義
8	大林	吉田 則夫
9	大林	木瀬 みよ子
10	欲賀	寺田 康夫
11	欲賀	奥村 正
12	欲賀	寺田 守
13	欲賀	池田 仁美
14	森川原	寺田 博重
15	森川原	森田 好次
16	森川原	森田 廣
17	山賀	松村 茂
18	山賀	猪飼 博雅
19	山賀	堀尾 和子
20	杉江	井本 滋美
21	杉江	杉江 清作
22	杉江	前田 智史
23	杉江	木村 正治
24	三宅稲葉	井上 猛
25	三宅稲葉	村松 孝夫
26	三宅稲葉	浜砂 秀紀
27	金森山柿	神谷 一郎
28	金森山柿	渡部 哲夫
29	金森山柿	神谷 ゆう子

事務局

- ・ 濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・ 川上 肇
- ・ 坪内稔夫
- ・ 田淵誠一
- ・ 中島 勉
- ・ 吉原史雄
- ・ 倉嶋佑介
- ・ 中島史郎
- ・ 足立慎也
- ・ 貞松純子

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 8 月 21 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	小津会館
出 席 者	住民 24 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 9 月 9 日 (月) 19 : 30~21 : 30
会 場	小津会館
出 席 者	住民 26 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 10 月 15 日 (火) 19 : 30~21 : 30
会 場	小津会館
出 席 者	住民 22 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

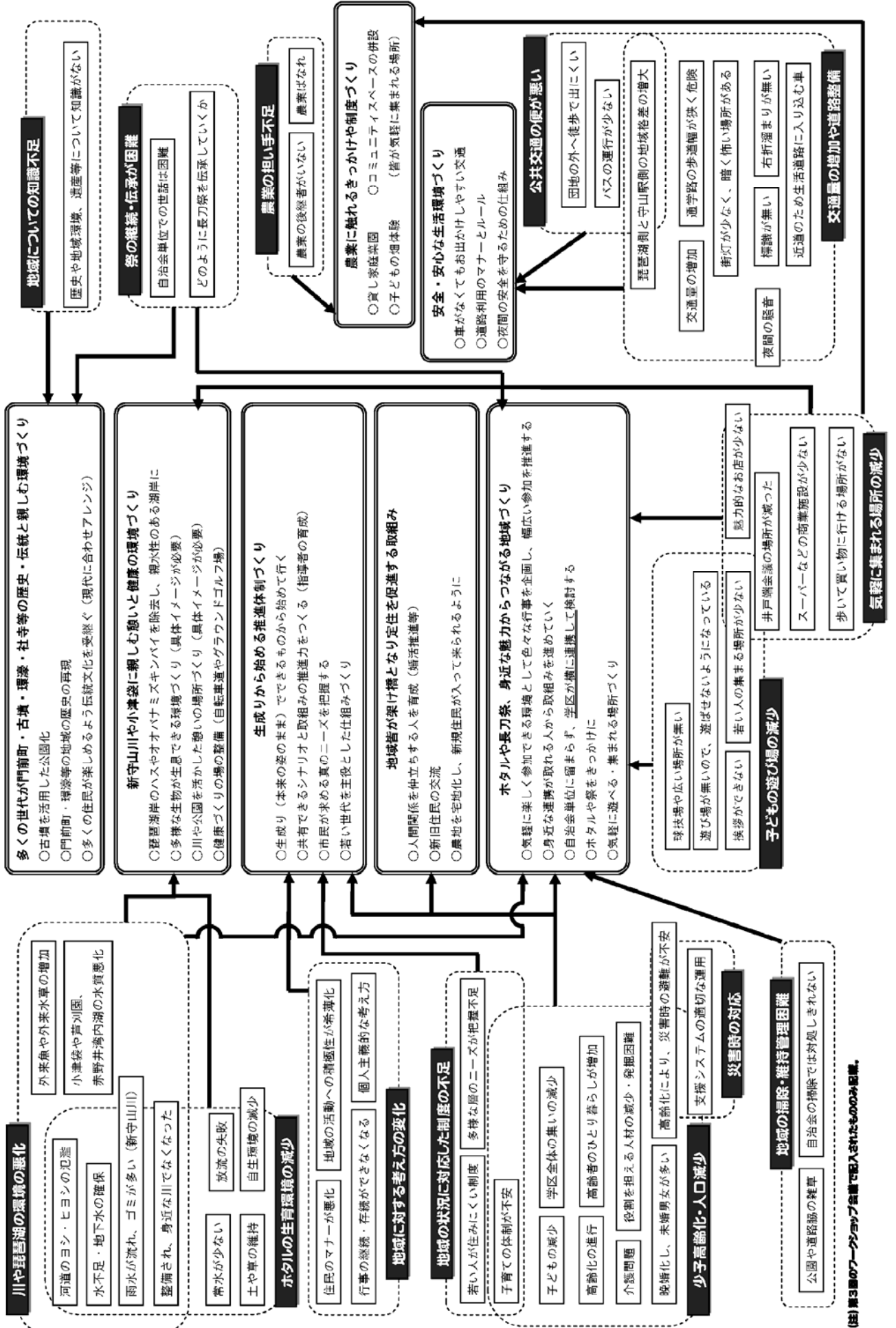
■ 第5回

日 時	平成 25 年 11 月 11 日 (月) 19 : 30~21 : 30
会 場	小津会館
出 席 者	住民 18 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 28 日 (火) 19 : 30~
会 場	小津会館
出 席 者	住民 24 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

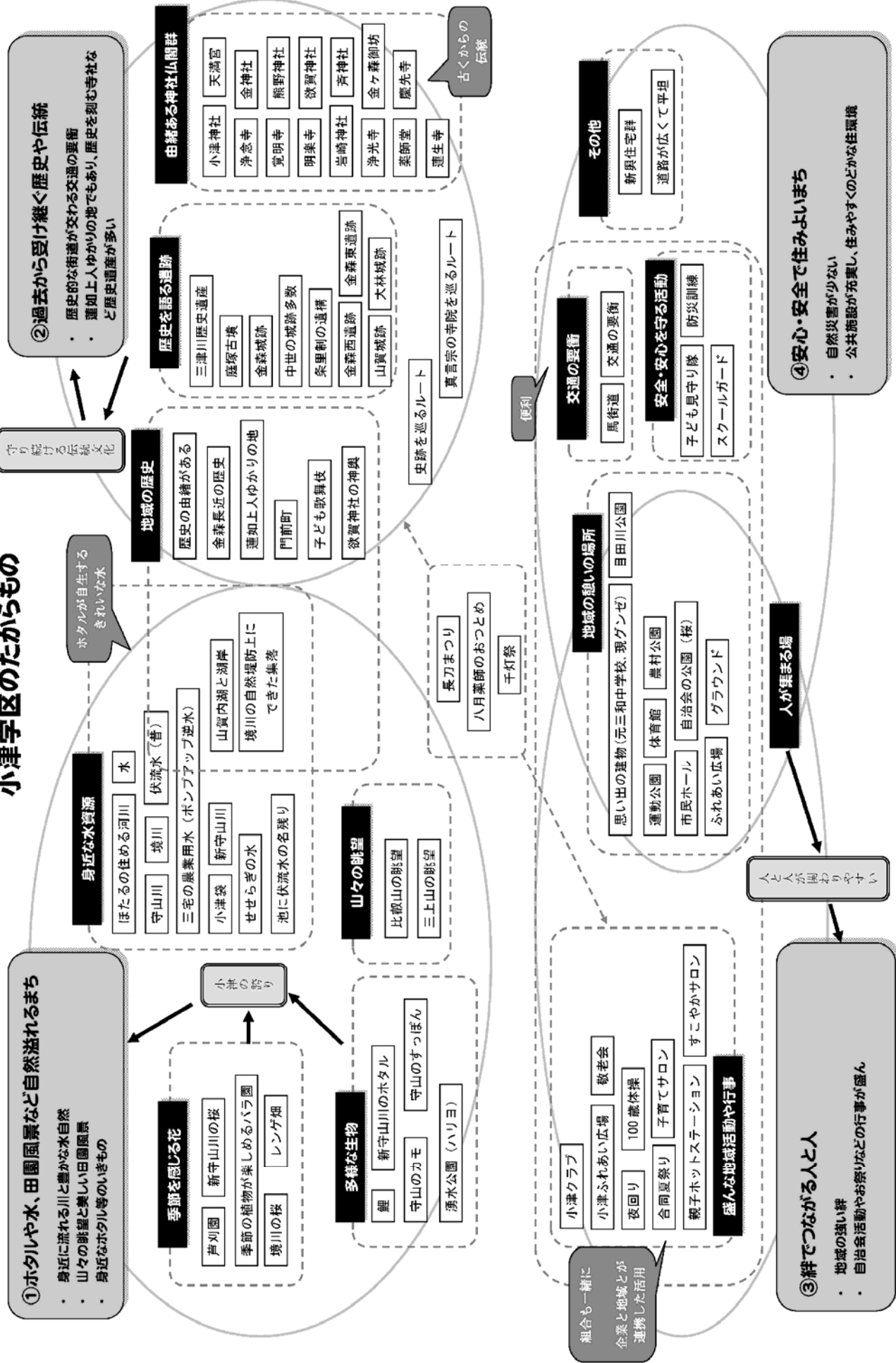
小津学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3部のアークトップ会議で記入されたもののみ記載。

(4) たからもの一覧

小津学区のたからもの



(注) 第 2, 3 回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 人と琵琶湖がつながり親しむ環境づくりプロジェクト

小津袋、山賀内湖、芦刈園など、湖岸に位置する豊かな水資源を活用して、四季を通じて人と水とが親しむことが出来る環境の創造を図るとともに、水環境を守り育てていきます。

●取り組み1 四季を通して憩える環境づくり

環境を破壊しない、自然な水環境づくり／水辺の散策路を整備し、行き交う人が春夏秋冬を通して憩う場の創出

●取り組み2 サイクルロードマップの作成

駅のレンタサイクルと連携した、水資源を巡るサイクルロードマップの作成

●取り組み3 誘客促進に向けた取り組み

整備した環境を守りながら、多方面からの観光客を増やすとともに、小津を好きになってもらう

プロジェクト2 新守山川触れ合い環境整備プロジェクト

小津学区を流れる新守山川を活用し、イベントの実施や花畑の整備など、人が集う・行き交う仕組みや環境を創出します。

●取り組み1 イベントや活動の実施

お花見イベントや、川をきれいにする活動の展開

●取り組み2 桜並木や自転車道の整備

桜並木を拡充整備し、自転車が安全に通行できるように

●取り組み3 河道の整備

人が川に入り、水を中心とした自然と触れ合うことができる環境づくり

プロジェクト3 湧き水に育まれた小津の文化発見プロジェクト

地名や歴史資源など、小津に数多く残る昔のなごりを整理し、歴史的な広がりや紐解きながらPRしていくことで、住民の地域への愛着の醸成や、他市との市民同士の交流に結びつけます。

●取り組み1 小津の地名とその由来の再発見

昔からの地名を収集・整理し、地域の歴史を再発見

●取り組み2 水資源と歴史資源との関係性を紐解く

金森長近、蓮如上人と門前町、信長と一向一揆、環濠などのまちの歴史と、小津の歴史や水の歴史を紐解きPR

プロジェクト4 公園で健康づくりプロジェクト

小津には、憩いや楽しみのために整備された公園がいくつもあります。これらの公園を活用して、一人ひとりが楽しみながら健康づくりを行える環境を整備します。

●取り組み1 楽しみながら運動ができる環境の整備

遊歩道について、花道をつくるなど興味を持って楽しみながら歩けるような環境に

●取り組み2 総合的な体力づくりの施設整備

木登り、岩登り、鉄棒など、体力づくりに使えるような施設を整備

プロジェクト5 ホテルが育ち光るまちプロジェクト

小津学区では、夏の夜になるとホテルが飛び交う幻想的な光景がみられますが、近年ではその数を減らしつつあります。そこで地域を挙げてホテルを育成・保護し、学区の魅力として磨き上げます。

●取り組み1 ホテル保護区

ホテルの正しい育成・保護法の勉強／自治会で「ホテル保護区」を設定し、有志で推進

●取り組み2 ホテルの育成・保護を通じたホテルと触れ合う環境づくり

ホテル観賞ルートの延長／夏の夜を楽しむルートづくり／他季節のイベントと連携し、年中お祭りがあるコミュニティに

プロジェクト6 季節の花が溢れる色彩の庭プロジェクト

小津学区には、バラ園や芦刈園など、季節の花々を味わい・親しむ場所があります。これらの場所とも連携しながら、地域の各所に春夏秋冬四季を通じて花々を鑑賞・散策できる環境をつくります。

●取り組み1 四季の花畑づくり

四季の花が育つそれぞれの場所で花畑をつくる

●取り組み2 四季の花畑を地域の魅力としてPR

季節の花を紹介するパンフレット等を作成しPRすることで、多くの人々に憩いを提供

●取り組み3 「まちを小ぎれいにしよう会」の結成

まちの美化に向けた取り組みの推進や、雑草の生えない施工・塗装方法などを勉強

プロジェクト7 比叡・比良の眺望活用プロジェクト

琵琶湖岸から見える比叡山や比良山地、三上山の眺望などは、見た人の心を掴んで離さない大きな魅力があります。この眺望を地域の魅力として磨き上げるため、眺望を堪能できる公園や歩道、ベンチや照明を整備し、イベントの開催など人が集うきっかけをつくります。

●取り組み1 夕日を味わう環境の整備

歩道の整備や、ベンチ、照明等の設置

●取り組み2 イベントの企画・実施

学区合同の花見会など、景観を味わうイベントの開催

●取り組み3 日本の夕日百選

湖岸からの眺望を夕日の名所として磨き上げ、日本の夕陽百選への選定を目指す

プロジェクト8 歴史を語るたからもの継承プロジェクト

小津学区には、蓮如上人や小津神社など、地域の歴史を語るたからものが数多くあります。これら魅力を再発見・再整理し、楽しみながら愛着を深めることができる仕組みを検討するとともに、次世代へ継承してきます。

●取り組み1 みんなで魅力の再発見・再整理

歴史的な魅力を伝える看板や標識などの作成を目指し、住民みんなで地域のたからものを整理することで、地域への愛着や住民同士のつながりを醸成

●取り組み2 ウォークルートの造成

史跡やゆかりの地等を結ぶ魅力的なウォークルートの作成

●取り組み3 若い世代も楽しめるイベントの実施

小学生や中学生が楽しく学習しながら参加できるスタンプラリーやウォークラリー等の開催

プロジェクト9 憩いの自治会館プロジェクト

自治会館で積極的に様々な活動を催すことで、地域のコミュニティ活動を活発にするとともに、皆が自然に集まってこれるような場をつくることで、地域の皆が仲良く助けあって暮らしやすいまちをめざします。

●取り組み1 自治会館の開放

月1回程度、自治会館を開放し、様々な催しが自由に開催出来る場をつくる／地域の様々なコミュニティ活動の活動促進

●取り組み2 サロンの開設

サロンなどを開設し、住民のさらなる集いを促進

プロジェクト10 長刀まつりへいらっしやいプロジェクト

国選択無形民俗文化財にも指定されている長刀まつりは、1400年とも言われる長い歴史をもつ祭です。この長刀まつりを今後も末永く継承していくため、幅広い世代が参画して、学区内外の様々な人が楽しみながら受け継いでいけるような仕組みをつくります。

●取り組み1 知識や資機材の共有化

長刀まつりの基礎的な知識や使用する資機材を学区全体で共有し、より身近な祭としての認識を育む／幅広い世代に祭りのことを楽しく知ってもらうための仕掛け

●取り組み2 氏子全体で受け継ぐ仕組み作り

長刀まつりを氏子全体で継承していきための意識共有や連携体制の構築

●取り組み3 祭の誘客促進・PR

長刀まつりの歴史やイチオシの楽しみ方などを幅広くPR

プロジェクト11 農からはじまるお付き合いプロジェクト

利用可能な田畑を活用し、農業体験や販売所、貸し農園などを展開することで、農業をきっかけとした学区内街の住民の交流を図ります。

●取り組み1 田畑を活用した農業体験イベント

子どもが楽しみながら農業に親しむことができるイベント

●取り組み2 野菜販売所の開設と、複数の販売所を結ぶ案内図の作成

各販売所で異なる野菜の販売や、旬な野菜の紹介、他の販売所の紹介

●**取り組み3 貸し農園の開設と、コミュニティスペースの併設**

希望者に貸し農園として貸出、敷地内にはBBQなどができ、皆が集まれるような場所をつくる

●**取り組み4 農業の担い手の募集と、初期支援**

県外などから農業の担い手を募集し、参画を支援するとともに、担い手として育成

プロジェクト12 若者の定住促進プロジェクト

若い世代を中心に、幅広い世代の小津への定住を促進していくため、地域の課題を把握・整理し、住みやすい環境の実現に向けて取り組みます。

●**取り組み1 地域の課題整理**

快適に暮らすにあたって日頃困っていることや、改善して欲しい課題などの抽出・整理

●**取り組み2 若い世代のニーズ把握**

若い世代は何を求めているか・どんな土地に住みたいかなどの、定住に関するニーズを把握

●**取り組み3 人間関係推進員制度（婚活推進員制度）**

外部の人材が入ってきやすいよう、昔の仲人のような役割を担う人材を育成し、住民間の人間関係などを取り持つ

④ 玉津学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(玉津学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	赤野井	谷口 喜久
2	赤野井	赤井 武志
3	赤野井	堀井 久嘉
4	赤野井	田中 善也
5	赤野井	徳地 智映
6	矢島	林 俊行
7	矢島	北野 進
8	矢島	藤田 康彦
9	矢島	大塚 美和
10	石田	赤井 清司
11	石田	金野 弘子
12	石田	澤田 文子
13	石田	中西 清重
14	十二里	荒木 勝司
15	十二里	十二里 勝美

事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・松岡 幹雄 ・鈴木 文男 ・松山 正
- ・坪内 稔夫 ・吉原 史雄 ・足立 慎也
- ・奥村 彰彦 ・田淵 誠一 ・小野田 敦 ・貞松 純子

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 7 月 24 日 (水) 20 : 00~21 : 45
会 場	玉津会館
出 席 者	住民 14 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 8 月 13 日 (火) 19 : 30~21 : 30
会 場	玉津会館
出 席 者	住民 13 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 9 月 18 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	玉津会館
出 席 者	住民 14 名 滋賀県立大学学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

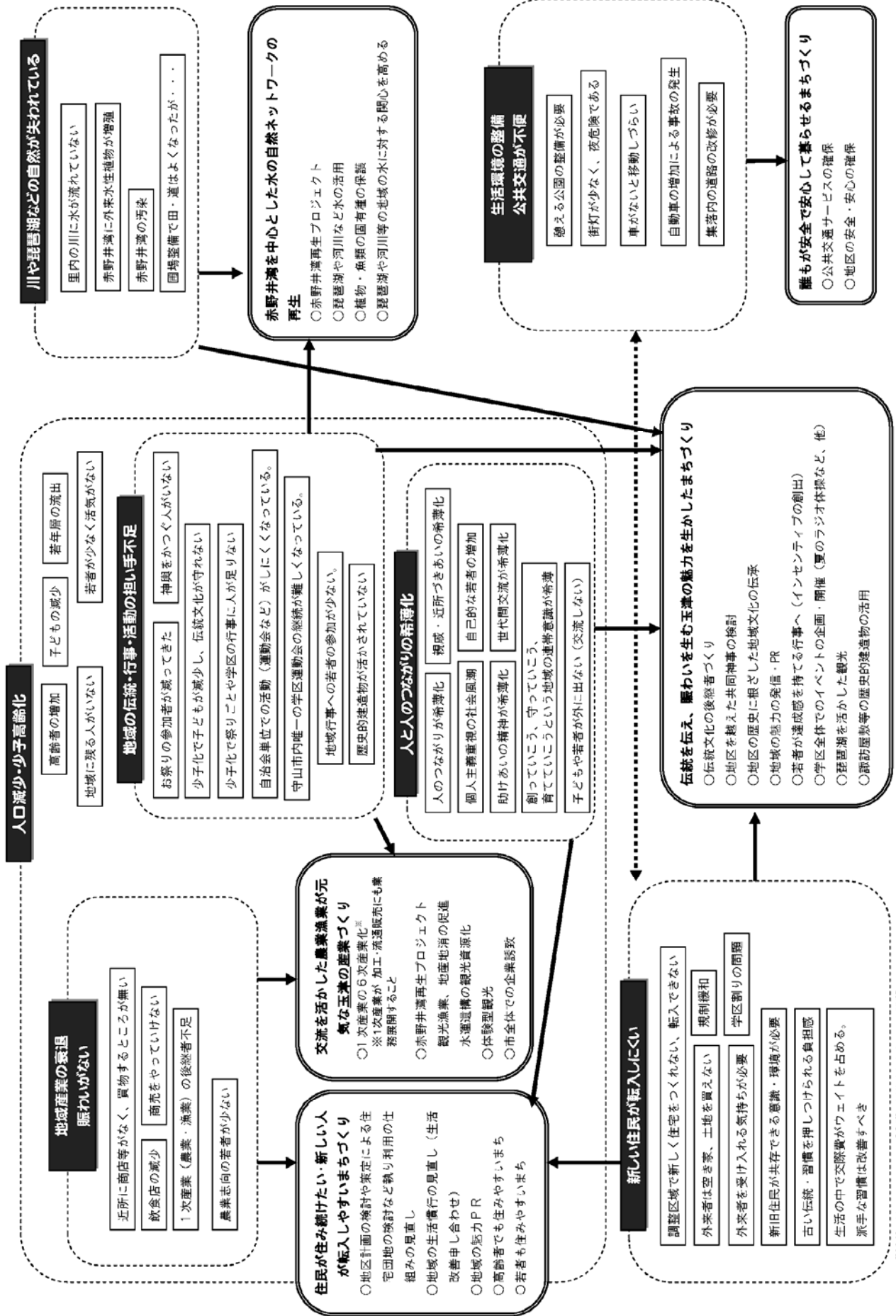
日 時	平成 25 年 11 月 6 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	玉津会館
出 席 者	住民 13 名 滋賀県立大学学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 31 日 (金) 19 : 30~
会 場	玉津会館
出 席 者	住民 16 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

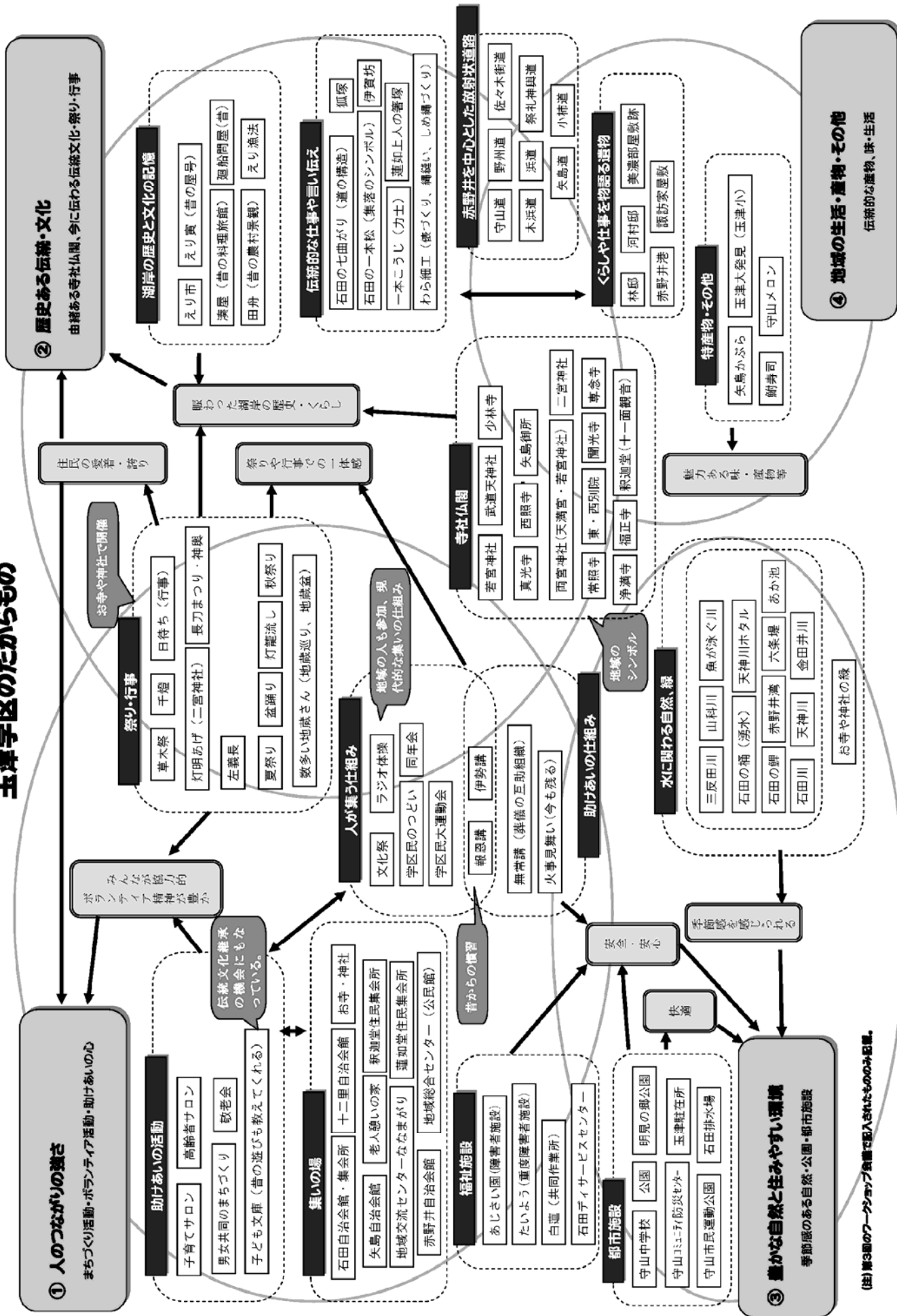
(3) 課題一覽

玉津学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回ワークショップ会議で記入されたもののみ記載

玉津学区のたからもの



(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 諏訪家屋敷再生・活用プロジェクト

玉津学区の貴重な文化財である赤野井の諏訪家屋敷の再生を図り、まちづくりの拠点として活用するとともに、地域住民やボランティアが主体となって活用方策の検討、維持管理を行うことにより、地域のまちづくり活動の担い手の育成の場としての利用を進めます。

●取り組み1 諏訪家屋敷を活用した住民主体の憩いの場づくり

諏訪家屋敷を市民が集う場として再生／住民が主体となったまちづくり拠点としての活用方策の検討／地域住民・ボランティアによる維持管理・運営

●取り組み2 諏訪家屋敷を軸とした農村文化まるごと体験

河川や琵琶湖、諏訪家屋敷などの古民家を活用したまちづくりの推進／農産物生産や薬材の植え付け、茶室の活用による農村文化の伝承／地域住民がもてなす体験型観光プログラムの内容検討と試行

プロジェクト2 玉津の歴史・伝統文化活用プロジェクト

東・西別院、少林寺、両宮神社（天満宮・若宮神社）、武道天神社をはじめとする玉津の歴史を今に伝える数多くの神社・仏閣、歴史文化資源を生かし、玉津の魅力を学区内外の人によりよく知ってもらうとともに、住民が誇りをもって、歴史・伝統・文化を次代に引き継いでいける仕組みをつくりまします。

●取り組み1 歴史・伝統文化の語り部の育成と活躍の場づくり

歴史・伝統・文化資源の情報整理と共有化（文献整理、写真記録、言い伝えの掘り起し、神社・お寺との連携など）／玉津の歴史・伝統・文化の語り部の育成（玉津のみどころ達人養成講座、玉津検定プログラムの作成など）／玉津の語り部が活躍できる機会づくり（老人クラブ・婦人会・子ども会等との連携、守山市のイベントとの連携）、案内拠点（窓口）の設置など

●取り組み2 玉津の伝統文化の遊びを次代に伝える仕組みづくり

子どもを対象にして、地域の神社・仏閣、鎮守の森の自然素材で作る「しおり、おもちゃづくり」等のイベント実施など

プロジェクト3 玉津お宝発見プロジェクト

玉津学区の名所を選定するとともに、隠れた名所（知る人ぞ知る名所）を発掘し、多くの人に玉津の魅力を楽しんでもらう住民参加型の仕組みをつくりまします。

●取り組み1 玉津の隠れた名所の掘り起しと名所選定、手作りツアーの実施

玉津を歩こう会・お宝発見ツアーの開催、ガイドブックの作成、継続イベントの企画、散策場所のわかりやすい説明板の設置など

●取り組み2 水辺の遊歩道づくり

琵琶湖から天神川をさかのぼって諏訪家屋敷まで行ける遊歩道の整備、散策コースの整備、案内看板の設置、遊歩道を花で飾る住民活動など

●取り組み3 遊休地等の地域資源を活かした住民の生きがい・仲間づくり・交流の促進

市民農園等の整備、手作り農産物の品評会・即売会、フリーマーケットの開催、スローライフの情報発信など

プロジェクト4 赤野井湾再生プロジェクト

湖岸の歴史と生活文化の記憶を今に伝える赤野井湾の水運遺構（えり市、えり寅、湊屋、廻船問屋、田舟、えり漁法）を再生・活用して、多くの人が琵琶湖の歴史と生活文化を学べる機会を創出するとともに、赤野井湾漁業を観光資源化して湖岸の集客を図り、地域の活性化につなげます。

●取り組み1 赤野井湾漁業の観光資源化

観光漁業の導入、赤野井湾ウォッチャー（外から来ていただく）／屋形船ツアー（草津のハスも取り込んだ観光ツアー）など／モロコヤフナが釣れるような水環境の整備

●取り組み2 水運遺構の整備・活用

水運遺構の発掘・再生、案内情報の提供／琵琶湖～諏訪家屋敷を結ぶ水上の散策コースづくり

プロジェクト5 琵琶湖の自然満喫プロジェクト

琵琶湖・内湖・川、そこに生息する動植物と営みの蓄積を生かして、学区内外の人が自然環境を満喫しながら、心身の健康づくりを実現できるような環境整備を進めます。

●取り組み1 五感を使った琵琶湖の自然を学べる仕組みづくり

NPO法人と手を組んで外来種植物除去を授業の一環にしたり、子どもたちが楽しんで地域の“宝もの”を五感で知るきっかけをつくる／子どもの自然体験基地としての赤野井湾周辺の整備（カヌー、カヤック、田舟、魚つかみ、魚釣り大会）／探検ツアーの企画（学区の子ども会、保護者が主体となり計画して実施）など

●取り組み2 琵琶湖湖岸の集客スポットづくり

湖周道路の賑わいの創出(ボンボリ・照明などを自治会の協力で実施)／湖周ロードの設定、体力づくりコース、健康づくりリーダーの育成／美しい琵琶湖を眺める心の安らぎスポット、恋と出会いのスポットの整備、マザーレイク実感スポットの整備など

プロジェクト6 玉津ホテル祭り推進プロジェクト

守山市のシンボルでもあるホテルを全市的に広めていくため、学区内でのホテル保護区を設定、環境整備を行って、運動公園までのホテル観賞観光客を玉津学区まで呼び込める仕掛けをつくります。

●取り組み1 天神川などをホテルの保護区として整備・PR

水量の確保、ホテルの森のノウハウの活用、小学校のホテル育成との連携強化 など

●取り組み2 玉津ホテル祭りの企画

現在の守山地区のホテル祭を他学区(玉津学区含む)まで拡大し、全市をあげてのホテル祭りとして盛り上げる／全国的にホテル祭りをPRして、市民が誇れる全市的行事に拡大 など

プロジェクト7 みんなで玉津を盛り上げようプロジェクト

玉津学区の各自治会が連携し、市民運動公園や地域の神社、諏訪家屋敷などの名所を活用し、伝統ある祭りや学区民の集いなどの機会を通じて、玉津を学区民全体で盛り上げるイベントを推進します。

●取り組み1 みんなで楽しむイベントの企画

運動公園全体を使った“宝もの探し大会”などのイベントの開催／スタンプラリー・クイズ等のイベントの開催(運動公園で実施されている人が集まるフリーマーケットと連携して、スタンプラリーやクイズを神社や寺に設けて、クリアしたら特典を付与)／運動公園の天神川を利用した魚つかみ大会などのイベントの開催、釣った魚の調理イベント(湖魚調理実習など)／学区の神社や名所(諏訪家屋敷など)などを活用した地域の人のためのフリーマーケットの開催(地元の産物などを提供)など

●取り組み2 伝統ある行事を盛り上げる

長刀まつりなどの伝統ある祭りを守山市全体の祭りに立て直す。(他地区からの参加者を募る)、集落共同出演による見学者の増加(交流)／一本こうじ相撲大会(各自治会の協力による共同開催・同時開催、参加者は男性・女性・子どもなど様々な人を想定、新しい企画)／昔の映画祭、盆踊り、夏祭り、ビンゴ大会など自治会の連携による、季節・時期を合わせた学区としてのリレーイベントの開催など

●取り組み3 玉津の行事・イベントのPR

伝統行事・イベントなどを一つのパンフレットでPR(自治会で協力して企画)／各自治会の“宝もの”を結んだ歴史街道マップ(歴史探索コース)を作り、年間イベントを組む／各自治会で実施している各種イベントを年間に振り分け実施する。単発的イベントを協力して実施など

プロジェクト8 玉津の特産品活用プロジェクト

地区の特産物を活用して、新たな加工品・商品を開発するとともに、その過程をみんなで楽しめるイベントとすることにより、地域の地産産業の活性化を図ります。

●取り組み1 地域の新しい特産物の開発

守山メロンを活用したスイーツの開発、スイーツグランプリの開催／矢島かぶら、赤野井ういろなどの玉津の特産物を活用した料理教室の開催、試食会の実施(子ども会行事とのタイアップ)／遊休地を活用した市民農園の作物などを活用し、自然の恵み感謝祭、手作り農産物の品評会、ハロウィンの時期のかぼちゃづくりなど

プロジェクト9 食の地産地消推進プロジェクト

地元の農産物の利用を促進し、地域の第1次産業を活性化するため、新鮮・安全・作り手の顔の見える安心食材の地産地消を推進します。

●取り組み1 湖魚の地産地消の促進

モロコ・鮒・ブラックバスなどの琵琶湖の湖魚のメニュー開発、料理教室の開催、地元の食材によるグルメイベントの開催など

●取り組み2 地元農産物の地産地消の促進

地元で作った野菜の料理教室、品評会の開催、グルメイベントの開催、共同チームによる直売所等への出品検討など

プロジェクト10 住民の安心・安全創出プロジェクト

子どもやお年寄りが安心して暮らせる地域をめざすため、助け合い活動、見守り活動、お年寄りの居場所づくり、子育て支援活動などの住民同士の温もりのある互助活動を進めます。

●取り組み1 高齢者の居場所づくり

高齢者を中心に住民が集える場の整備(石田の“ななまがり”のような地域の人が集まれるきっかけの場所)など

●取り組み2 地域の安全・安心創出活動

地域の安全・安心の創出に向け、自治会・婦人会・老人会といった地域組織と行政、警察、消防等との関係団体との連携・協力体制の充実など

プロジェクト11 定住促進プロジェクト

少子高齢化が進む社会情勢を念頭に、地域の活性化に向け、新しい住民の受け入れ態勢、今住んでいる人がより住みやすくなるよう社会慣行のあり方を、地域が主体となって見直します。

●取り組み1 地区計画の検討・調整区域の見直し

地域のあるべき姿を住民同士が検討・共有化し、地域の活性化に向けた地区計画の策定の検討、調整区域の見直しなど、行政と一体となった取り組みの推進など

●取り組み2 生活慣行の見直し

社会環境の変化に対応し、地域住民がより住みやすくなる地域の社会慣行のあり方の協議、必要な見直しに向けた取り組みの推進など

●取り組み3 将来のまちづくりに向けた協議の場への若者の参加促進

将来の玉津のまちづくりを若い人と一緒に進めるため、若い人も参加しやすい協議の場の工夫など

⑤ 河西学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(河西学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	小島	島田 恭司
2	小島	北川 作治
3	播磨田	北村 光明
4	播磨田	北村 実
5	播磨田	望月 香奈恵
6	今市	大内 順一
7	今市	河村 眞一
8	布施野	小林 茂
9	布施野	竹林 義彦
10	荒見	里内 勝
11	荒見	石原 和成
12	川中	高野 隆男
13	川中	岡田 頼光
14	川中	岡田 美代子
15	笠原	若井 博之
16	笠原	津田 徹
17	中	内田 俊治
18	中	内田 豊
19	田中	小原 敬治
20	田中	平尾 茂一
21	川辺	茶谷 富雄
22	川辺	茶谷 勉
23	阿比留	柁森 嘉高
24	阿比留	倉田 一祐
25	阿比留	神谷 昭夫
26	川田	中北 平夫
27	川田	中田 康男
28	喜多	片山 武
29	喜多	北村 優
30	河西ニュータウン	近土 邦雄
31	河西ニュータウン	沖田 修作
32	河西ニュータウン	浅田 紀代子
33	河西ハイム	山川 喜一郎
34	河西ハイム	西尾 由利子
35	ラフィーネ守山	岸本 貢
36	ラフィーネ守山	塚田 一彦

事務局

- ・濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・北野正広 ・川嶋利明 ・中野俊彦
- ・坪内稔夫 ・吉原史雄 ・足立慎也
- ・田淵誠一 ・山田 憲 ・義浦慶子 ・倉嶋祐介

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 7 月 25 日 (木) 19 : 30~20 : 45
会 場	河西会館
出 席 者	住民 31 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 8 月 28 日 (水) 19 : 00~20 : 40
会 場	河西会館
出 席 者	住民 25 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 9 月 25 日 (水) 19 : 00~21 : 00
会 場	河西会館
出 席 者	住民 30 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

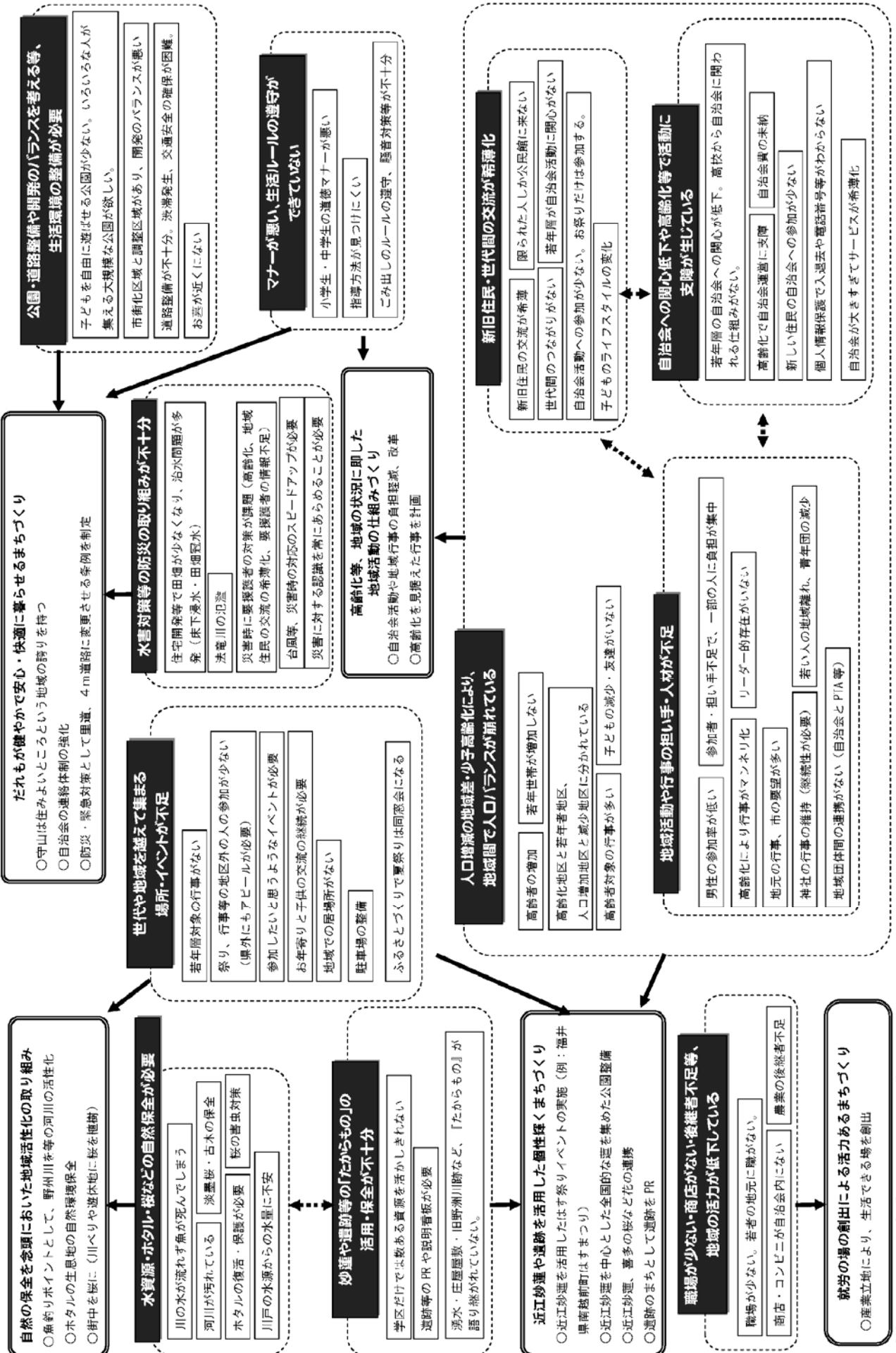
日 時	平成 25 年 11 月 13 日 (水) 19 : 00~21 : 00
会 場	河西会館
出 席 者	住民 25 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 22 日 (水) 19 : 00~
会 場	河西会館
出 席 者	住民 29 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

河西学区の課題・活性化の方向性

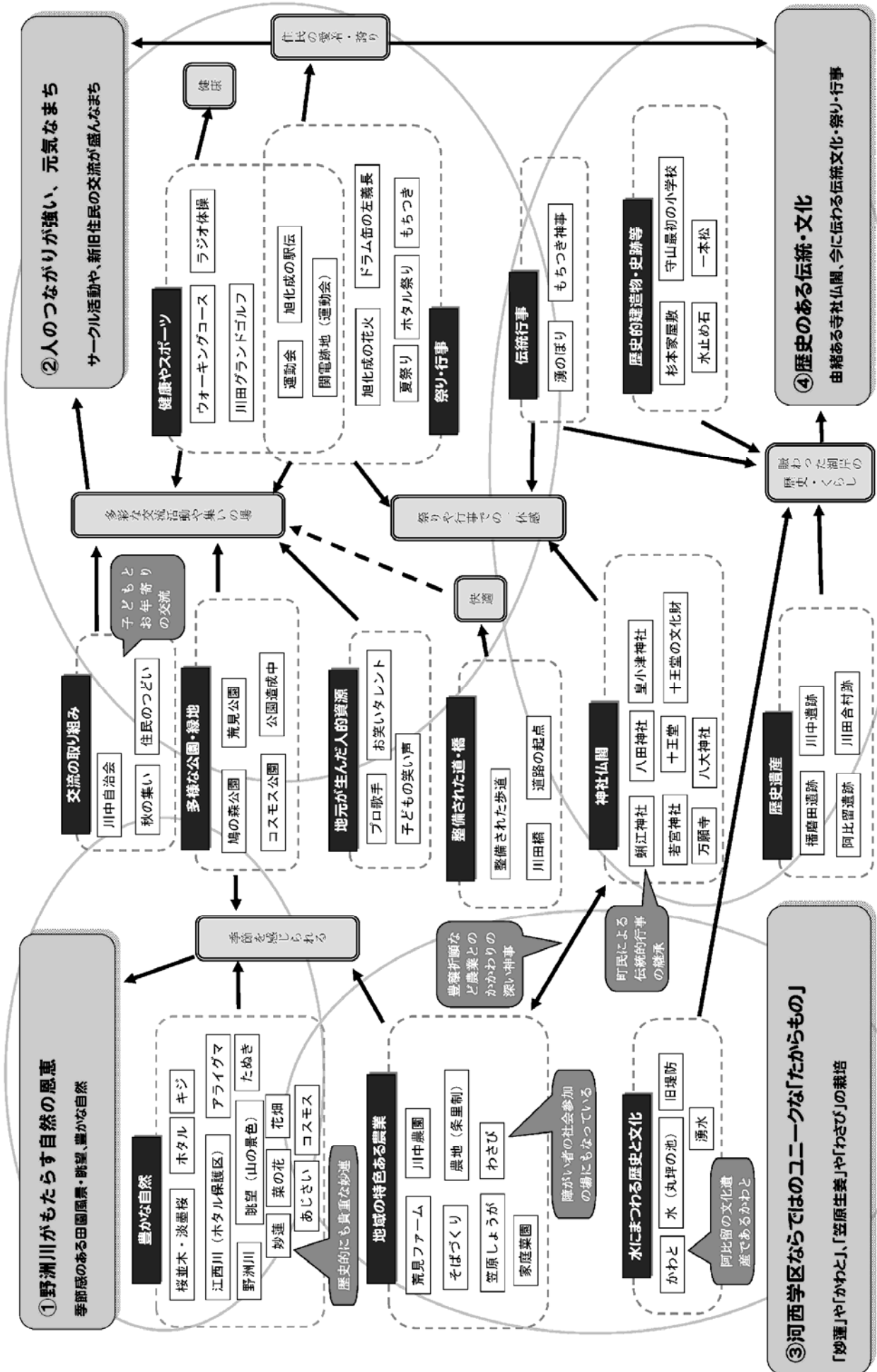
(3) 課題一覧



(注) 第3回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

(4) たからもの一覽

河西学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 近江妙蓮活用プロジェクト

河西地区に600年以上も前から受け継がれ、また守山市の花であり滋賀県天然記念物でもある近江妙蓮を活用し、観光資源として地域内外との交流に活用するほか、近江妙蓮にまつわる観光物産品の開発、妙蓮公園の機能拡充によりさらなる魅力の向上に取り組みます。

●取り組み1 近江妙蓮を中心とした地域間交流

蓮で有名なまちと姉妹提携を結び、蓮めぐり交流ツアー等を企画／近江妙蓮と笠原桜並木・野洲川中段の花公園を連携させて観光資源として活用／国の天然記念物への申請を行い、全国的にPR

●取り組み2 観光物産の開発と妙蓮公園の機能拡充

近江妙蓮にまつわる観光物産品の開発／妙蓮公園に観光物産展示場を整備／妙蓮公園に全国から蓮の花を集めるなど、機能・魅力の向上

プロジェクト2 観光資源魅力向上プロジェクト

杉本家屋敷や播磨田城遺跡・播磨田東遺跡・阿比留遺跡・酒寺遺跡等、河西地区の歴史遺産の活用を図り、また、四季を通じた観光の魅力向上や、観光客の受け入れ態勢を整備することで、観光資源の魅力の向上を図ります。

●取り組み1 杉本家屋敷の活用

「杉本家屋敷」と「諏訪家屋敷」（玉津学区）の連携による「大庄屋屋敷」特別公開

●取り組み2 広域連携による遺跡の活用

全市的な連携による遺跡の活用促進・PR強化など

●取り組み3 四季を通じた観光の魅力の向上

四季を通じて観光客が楽しめるプラン・ツアーの開発、農業公園の整備

●取り組み4 観光客の受け入れ態勢の整備

駐車場の整備、ゴミ対策など、地域と行政の連携による取り組み

プロジェクト3 河西を「巡る」「学ぶ」プロジェクト

ウォーキング等を通じて河西の『たからもの』を巡り、地域の素晴らしさを再発見したり、河西学区出身の学識経験者等を講師に招き学習会を行うことで、地域への理解を深めるとともに、地元への愛着心の醸成に取り組みます。

●取り組み1 地域を巡る探訪・再発見ツアーの開催

神社仏閣・歴史遺産・野洲川堤防などをめぐるウォーキング・オリエンテーリング、「歩こう会」の開催／神社仏閣・歴史遺産・史跡建造物をつなぐウォーキングロード（車乗り入れ禁止）やサイクリングロードの整備（旧野洲川堤防等）

●取り組み2 多様な学習会・イベントの開催

河西学区出身の有名人・学識経験者等による学習会・イベントを開催／遺跡からの出土品の展示・管理体制の整備（学区外で保管されている出土品の「里帰り展示」等）歴史遺産をDVDなどに編集し、学習会等のイベントを開催／市街化調整区域での地区計画学習会

プロジェクト4 阿比留の「かわと」活用プロジェクト

豊かな水資源を活用し、古くから生活の中で利用されてきた「かわと」は、今では数も減り、大変貴重な歴史文化資源でもあることから、水源も含めた「かわと」の維持と、観光資源としての活用に努めます。

●取り組み1 「かわと」の維持と水源の保全

歴史文化資源としての「かわと」の維持と湧水等の水源の保全

●取り組み2 観光資源としての活用

「かわと」と水が美しく鯉等が泳ぐ里川の観光資源としての活用

プロジェクト5 野洲川・法竜川・里川の「水辺空間」満喫プロジェクト

河西学区には野洲川をはじめ、法竜川や里川など、水辺空間が豊富なことから、これらの自然の恵みを満喫できる活用方法を工夫し、地域の交流・憩いの場として整備を進めます。

●取り組み1 野洲川の自然との触れ合い・体験

野洲川筏流し（かつて行われていた竹の筏流しの復興）／飯ごう炊さん大会（子ども向け）／笠原の桜・河川公園・魚ポイントを連携させた活用・PR／魚を「獲って、食べる」イベントの開催（子ども向け）

●取り組み2 野洲川「花いっぱい」運動

野洲川の桜並木の整備／野洲川の法面にコスモス園を整備／川田橋から新庄大橋の中段を活用した花公園の整備（比叡山・三上山の景観と一体的整備）

●取り組み3 法竜川での「魚あそび」

魚の放流や魚釣り大会の開催

●取り組み4 里川の「遊空間」としての活用

里川を子どもの遊び場・子育て空間として活用

プロジェクト6 豊かな自然を活かし「四季をつなぐ」プロジェクト

河西学区の豊かな自然資源を活かし、一年を通じて自然と触れ合い楽しめる環境を整備するため、季節の花の活用や植樹、ホタルの保護等、「四季をつなぐ」取り組みを推進します。

●取り組み1 季節の花や果樹を活用し「四季をつなぐ」取り組み

野洲川河川敷等、四季を通じてお花見ができるスポットの整備／桜・菜の花・コスモス・ススキ等、季節の草花の活用／桜、ホタル、近江妙蓮等の自然の『たからもの』を活かし、四季をつなぐ取り組み／栗・柿等の果樹の植栽

プロジェクト7 河西の「身近な魅力」情報発信プロジェクト

河西学区のみどころやイベントの中には、学区内でもあまり知られていないものもあることから、見どころを整理したマップやイベント情報の発信の工夫を行い、より多くの人に河西の魅力を身近に感じ、楽しんでもらうための仕組みをつくります。

●取り組み1 河西のみどころマップの作成

歴史・文化遺産のみならず、豊かな自然を紹介するマップづくり

●取り組み2 情報発信の拡充

「たからもの」の案内板の整備等、地元の人へのPRの拡充／HP・瓦版（学区新聞）による広報の拡充／学区全体のイベント・行事カレンダーの作成

●取り組み3 「はなだより」情報の発信

桜・近江妙蓮・紫陽花・コスモス等の開花状況等の情報発信

●取り組み4 河西学区の「テーマソング」の制作

河西学区出身の歌手お笑いタレントに河西のテーマソングの制作を依頼

プロジェクト8 河西のみんなで「つながる」プロジェクト

河西学区で行われているイベントや行事の内容を工夫したり、規模を拡充することで、自治会同士や新旧住民・世代間の交流を促進し、また、自治会活動を工夫することで交流のさらなる活性化に取り組みます。

●取り組み1 自治会同士や新旧住民で交流し「つながる」

「学区民の集い」の拡充と参加型イベントの開催／河西学区全体での大きな祭り・運動会・文化祭の開催（新旧住民交流型の行事として開催）／各自治会の取り組み（祭り等）を学区全体で連携・連動（共通のネーミング等）

●取り組み2 若い世代が交流し「つながる」

現役世代（35歳～65歳）を対象としたイベント・行事の開催／親子で楽しむイベント・行事の開催（若い子育て世代対象）／年代別ゴルフコンペ等の開催／若者向け運動会の開催（企業参加で内容を工夫）／行事と音楽イベントなどを組み合わせた若者・新住民向け行事の開催／「子どもかるた大会」「子ども将棋大会」の開催

●取り組み3 世代間で交流し「つながる」

若い世代と「話す」「呑む」イベントの開催／大人から子どもまで、あらゆる世代が楽しめる河西学区大運動会の開催／公園を活用した健康促進の取り組み（子ども～お年寄りの交流）／夏休みに自治会館を開放し、子ども・高齢者対象のイベントを開催／自然を活用した遊び（魚釣りなど）を通じた世代間交流

●取り組み4 ユニークな行事・イベントを通じて「つながる」

八田神社での年末のしめ縄作りへの学区民の参加促進（老人クラブ以外の参画の促進）／阿比留の灯明踊りや初詣で灯されるペットボトル灯籠を学区全体に展開（子どもが作ったペットボトル灯籠）

プロジェクト9 自治会活性化プロジェクト

地域づくりの中心的な役割をになう自治会の活動の内容を再検討し、また、他団体との連携のあり方を検討することにより、より効果的な活動が展開できる仕組みづくりを検討します。

●取り組み1 自治会行事の改革

自治会の負担軽減、行事のマンネリ化の改善

●取り組み2 地域団体同士の連携促進

自治会・PTA等の地域団体での予算を含めた連携を行い、より効果的な活動を展開

プロジェクト10 河西の農業特産品プロジェクト

河西学区ならではの笠原生姜やわさびといった農業特産品を活用した見学ツアーや6次産業の開発などを通じて地域の農業を活性化し、また、交流の場としても農業の活用を推進します。

●取り組み1 農業特産品を活用したイベントの開催

笠原生姜・わさび・そば畑等の見学ツアーの開催／河西学区収穫祭の開催／地域素材を活かした料理イベントの開催（中学校等で開催）

●取り組み2 6次産業の開発

笠原生姜・わさび・近江妙蓮等の特産品を使った6次産業の開発

●取り組み3 農業ファームの活用

新旧住民が交流しながら、3世代による野菜作り

プロジェクト11 健やか・安心・快適な生活環境創出プロジェクト

誰もが健やかで安心して快適に暮らせる生活環境を創出するため、高齢者を支える仕組みづくり、公園や河川・道路整備、生活マナーの向上等、幅広く生活環境の改善に取り組みます。

●取り組み1 高齢者の買い物支援

企業・事業者の力を活かした高齢者への生活支援（買い物支援など）

●取り組み2 公園・道路・河川の整備

野洲川河川敷等にスポーツ公園を整備（サッカーや野球が出来る公園）／ボール遊びのできる公園整備（フェンスで公園を囲む等）／ホテル公園・コスモス公園・桜公園など、ひとつの特色に秀でた公園・緑地の整備／野洲川新堤防の道路整備／ホテルの住める里川の環境整備／ゲリラ豪雨等に対応した河川整備

●取り組み3 生活マナーの向上

「あいさつ運動」の推進（特に、大人から子どもへの「声かけ」）／チラシの配布や自治会を通じたマナーの啓発（ゴミ出しや道路で遊ぶ際のマナーの啓発）

⑥ 速野学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(速野学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	開発	芝田 八十司
2	開発	中井 智美
3	開発	岡本 善広
4	大曲	山本 光男
5	大曲	堀江 清
6	大曲	山本 富夫
7	木浜	下村 清明
8	木浜	葭本 正昭
9	木浜	下村 清武
10	木浜	中西 理津子
11	ネオ・ベラヴィータ守山	山岡 龍二
12	ネオ・ベラヴィータ守山	宮川 美紀子
13	ネオ・ベラヴィータ守山	森神 亨
14	美崎	山田 美鶴
15	美崎	苗村 寛
16	美崎	戸田 直弘
17	美崎	伊藤 潔
18	北川ニュータウン	岸 典生
19	北川ニュータウン	堀尾 菊宏
20	北川ニュータウン	松本 理絵
21	今浜	今江 光夫
22	今浜	山田 良彦
23	今浜	野口 清英
24	水保	今井 薫
25	水保	西村 雅行
26	水保	小山 安男
27	中野	中島 幸一
28	中野	今井 孝雄
29	中野	今井 満
30	中野小林	佐々木 芳郎
31	中野小林	下川 博司
32	中野小林	赤尾 信廣

事務局

- ・濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・高谷 実
- ・坪内稔夫
- ・小野田 敦
- ・今井 剛
- ・吉原史雄
- ・奥村彰彦
- ・西藤安彦
- ・田淵誠一

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 7 月 22 日 (月) 19 : 30~21 : 30
会 場	速野会館
出 席 者	住民 32 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 8 月 31 日 (土) 9 : 30~11 : 30
会 場	速野会館
出 席 者	住民 25 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 9 月 22 日 (日) 13 : 00~15 : 00
会 場	速野会館
出 席 者	住民 22 名 滋賀県立大学濱崎先生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

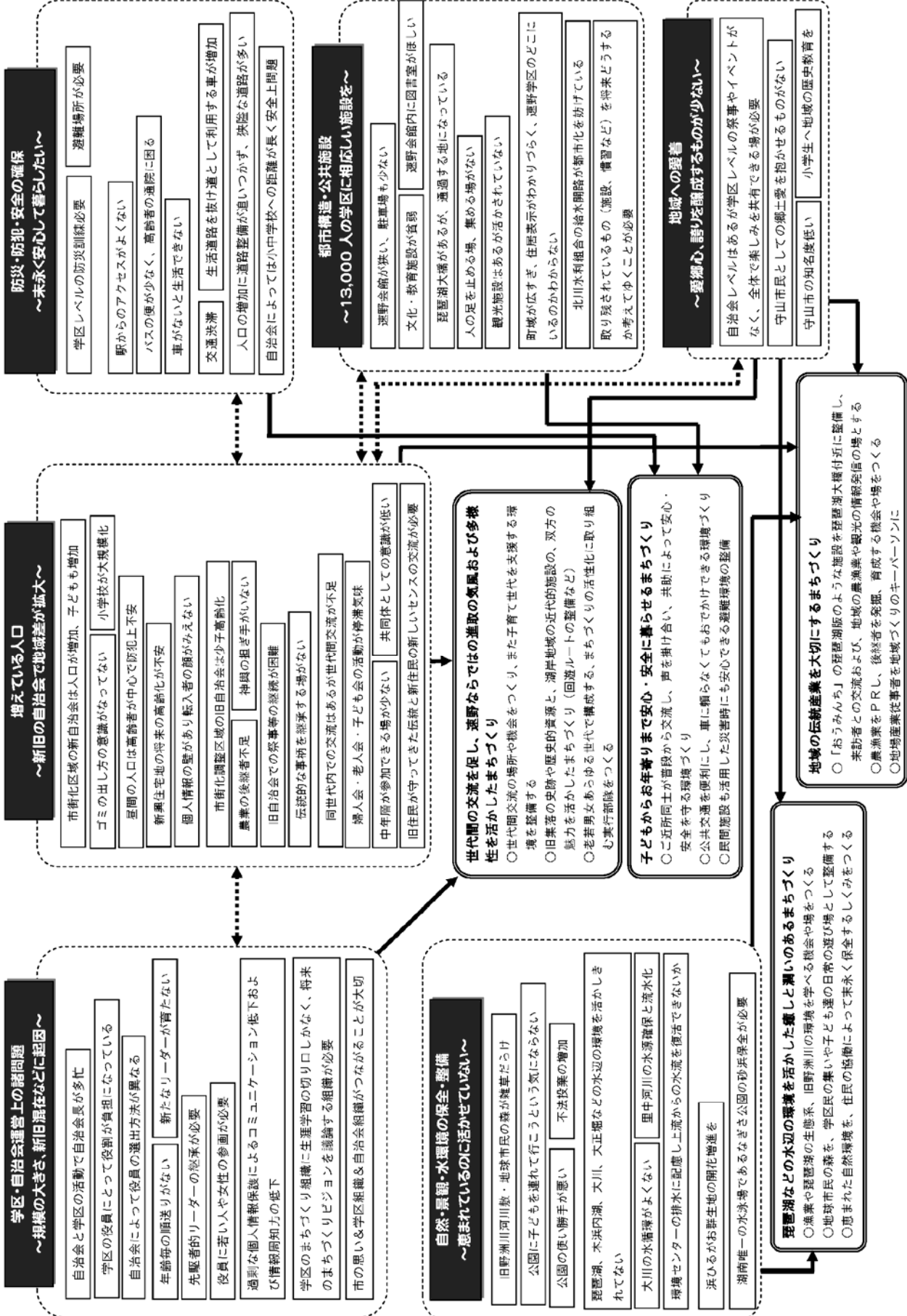
日 時	平成 25 年 11 月 17 日 (日) 19 : 30~11 : 30
会 場	速野会館
出 席 者	住民 17 名 滋賀県立大学濱崎先生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 2 月 11 日 (火) 10 : 00~
会 場	速野会館
出 席 者	住民 27 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

(3) 課題一覧

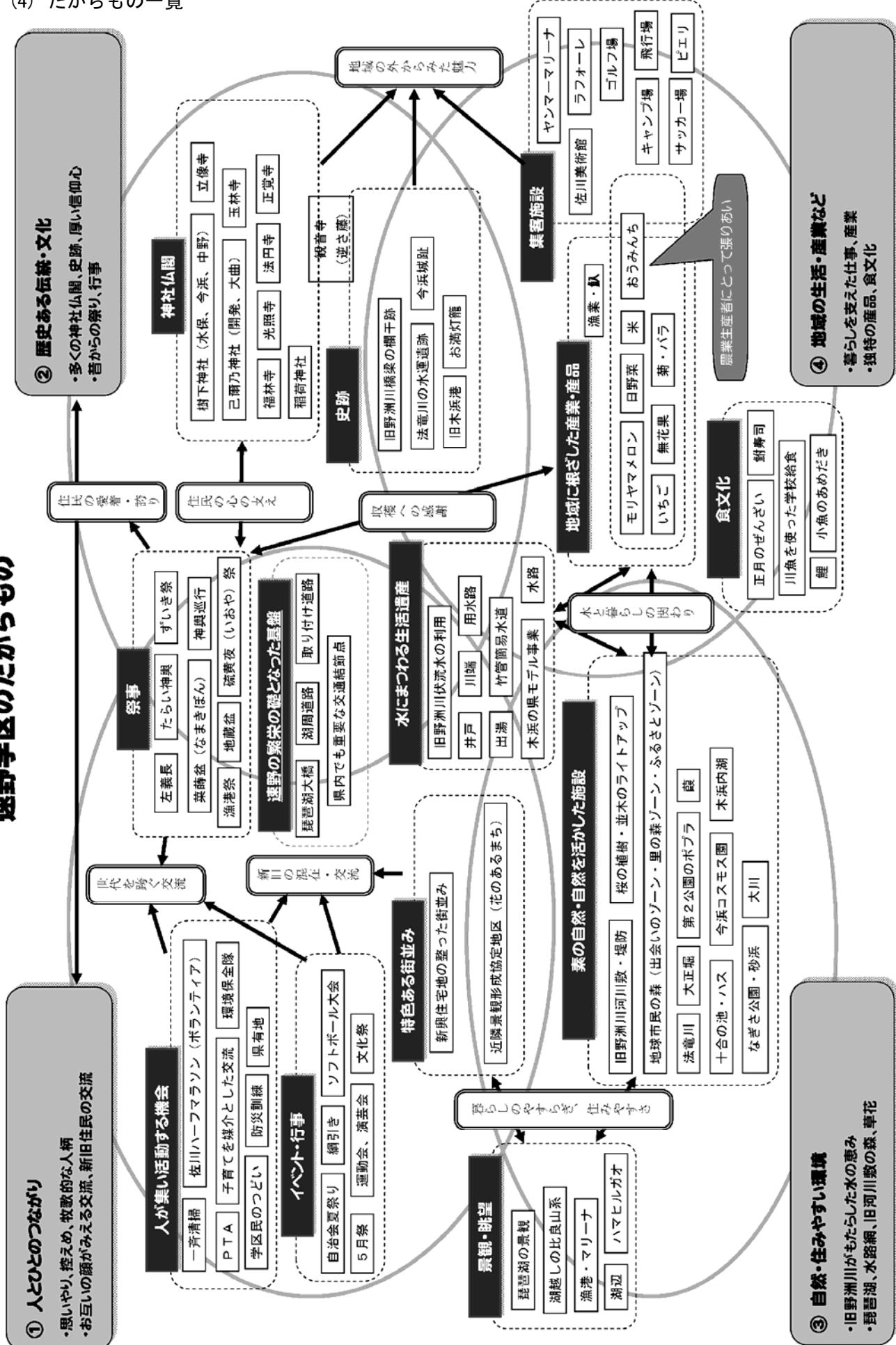
速野学区の課題・活性化の方向性



(注)第3章のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

(4) たからもの一覧

速野学区のたからもの



(注) 図 2 回のワークショップ各議で記入されたもののみ配属。

(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト

速野学区内の広範囲に広がる旧野洲川跡地において滋賀県が整備を進めているびわこ地球市民の森を、学区の住民が日常の楽しみややすらぎを享受し、住民間相互の交流を図る場として活用するとともに、学区外からの集客を目的としたイベント開催する場としても活用し、地域の内外からにぎわいや活力を生み出します。

●取り組み1 学区住民の日常的な楽しみと安らぎの場づくり

美崎公園、なぎさ公園まで連続する遊歩道、ジョギングコース、サイクリングロードの整備／堤防沿いに桜並木の整備／流水の確保、水質の向上、親水景観の整備、清掃の徹底によるやすらぎ環境の整備

●取り組み2 学区住民の相互交流の場づくり

球技を楽しめるグラウンドの整備（ソフトボール、サッカーなど）／学区民の集い、学区民スポーツ大会など、学区内交流、世代間交流を目的とした定例行事を地球市民の森で開催／雑草の手入れや管理等の環境保全に学区住民が参画する仕組みをつくり、協働の機会を創出

●取り組み3 他地域からの来訪者を呼び込むイベント開催

年間を通しての集客イベントの開催（ソーラン、マラソン大会、ウォークラリー大会、音楽祭など）／グラウンドゴルフコースを、国際的な大会を開催できるような名門コースとして整備

プロジェクト2 まちなかに水のうるおい復活プロジェクト

かつての野洲川伏流水のような水を集落内に流し、うるおいとやすらぎを創出します。そして、水を中心に成り立っていた当時の地域文化・生活遺産・自然環境などを可能な範囲で復元、再現、保全し、地域の子どもたちや新住民に伝えてゆくとともに、水に親しむことのできる環境を整備し、教育・観光資源として活用します。

●取り組み1 水にまつわる文化・生活遺産の再現と保全

水源を確保し旧集落を流れる水の復元（伏流水、法竜川からの導入など）／用水路、井戸、川端など、水と日常生活が触れあう生活環境の復元／ホテルが生息できるような水辺の自然環境の整備と保全／竹管簡易水道や、法竜川の舟（農作業における移動や輸送）などの生活遺産、水上交通があった時代の写真等を展示する場の整備

●取り組み2 水に親しみ楽しむ機会づくり

法竜川で舟遊びできる環境の整備（ボート、カヌー、屋形船など）／旧集落内の用水路や法竜川などに沿った水辺の歩行回遊ルートの整備（回遊マップや案内・説明看板の設置など）

●取り組み3 水をとおした住民相互や来訪者との交流機会づくり

用水の清掃、親水景観の保全、水質浄化などの水辺の環境保全を地域住民が主体となって行う仕組みづくり／旧来からの住民が、地域の子どもたちや新住民や来訪者に、伏流水があった時代の生活様式や生活遺産を語り伝える

プロジェクト3 大川周辺の自然環境保全&環境学習推進プロジェクト

旧野洲川の下流部に位置し、多くの人や車が行き来する湖周道路に近い大川と周辺の自然環境を活かし、琵琶湖（おもに琵琶湖大橋以北）や既存の公園施設（美崎公園、なぎさ公園など）と連携し、学区住民や来訪者にやすらぎとうるおいを与える空間を創出するとともに、環境学習の場として活用します。

●取り組み1 大川の水質改善と周辺の自然環境改善

水草の除去やヘドロの清掃等により水質を改善し、人が触れることができ、多様な生物が生息できるきれいな水の復活／川岸に繁茂する雑草の除去や不法投棄物等の撤去により、悪臭などのない快適な沿岸環境の整備

●取り組み2 大川と周辺の自然を利用した環境学習プログラムの作成

大川とその周辺に生息する淡水生物、野鳥、昆虫、植物を活用した環境学習の場の整備、環境マップの作成、回遊歩道や木道の整備など／美崎公園のキャンプ場利用と環境学習をセットにしたプログラムづくり

●取り組み3 大川と周辺の花のネットワーク形成

ハマヒルガオ、ひまわり、菜の花、コスモス、その他の希少な草花など、大川から琵琶湖にかけて咲く草花を紹介するマップの作成／花畑の手入れや周辺の清掃、草刈りなど、地域の住民による保全活動

プロジェクト4 木浜内湖周辺で水に親しみ楽しむ環境整備プロジェクト

木浜内湖周辺の自然環境を活かし、琵琶湖（おもに琵琶湖大橋以南）や周辺の施設（美崎公園、なぎさ公園など）と連携し、学区住民や来訪者にやすらぎとうるおいを与える空間を創出するとともに、水に親しむスポーツや遊びの場として活用します。

●取り組み1 木浜内湖の水質改善と周辺の自然環境改善

水草の除去やヘドロの清掃等により水質を改善し、人が触れることができ、多様な生物が生息できるきれいな水の復活／川岸に繁茂する雑草の除去や不法投棄物等の撤去により、悪臭などのない快適な沿岸環境の整備

●取り組み2 水に親しむスポーツや遊びのプログラム作成

ボート、カヌー、いかだ、釣りなど様々な水上スポーツや水に親しむ遊びを同時に楽しめるようにする／木浜内湖～琵琶湖にかけて屋形船を運行し、水上から沿岸や比叡の山々の景観を楽しめるようにする

●取り組み3 水辺の環境と近代施設が融合した複合的リゾート環境の整備

湖岸の穏やかな自然環境と、佐川美術館やゴルフ場などの近代的施設の双方を楽しめる複合的リゾート地としての魅力をPR

プロジェクト5 速野まるごとエコミュージアムプロジェクト

広大な面積の速野学区には、旧野洲川（地球市民の森）、琵琶湖、木浜内湖、大川、法竜川、旧集落や農地間の用水路、公園など、それぞれ个性的な水環境、自然資源が存在しており、これらをネットワーク化して速野学区全体をエコミュージアムとして形成し、水と自然と人が共生するまちをめざします。

●取り組み1 速野エコミュージアムマップ・パンフレットの作成

速野に点在する様々な河川、湖、水辺空間、自然資源の位置と特徴を示したエコミュージアムマップおよびパンフレットを作成

●取り組み2 速野エコミュージアム回遊ルートの形成

広大な速野学区に広がる水辺空間を回遊できる遊歩道、サイクリングロードの整備、「四季の速野巡り」と題したルートの設定、統一感のある案内標識や説明看板の整備

●取り組み3 環境学習を指導、実践する地域の組織、人材づくり

それぞれの河川、湖、公園などに環境学習を指導するインストラクターを配し、その人材を学区内の各資源のある自治会から発掘、育成／地域の子どもたちの中から「エコレンジャー」を結成し、地域の高齢者といっしょに清掃や草刈りなどの保全活動に取り組む

プロジェクト6 いにしえの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト

学区内には多くの神社仏閣、史跡、言い伝えなど、地域の歴史を語るたからものが数多くあります。これらを学区住民の手によって再発見・再整理し、魅力や歴史的価値を学区内外の人によりよく知ってもらうとともに、住民が誇りをもって、歴史・伝統・文化を次代に継承する仕組みをつくります。

●取り組み1 歴史的たからものの再発見&PR

地域に点在する神社仏閣、史跡を持つ個々の歴史などに関する情報を住民が手分けして収集・整理／その結果をまとめた歴史回遊マップ・パンフレットの作成、統一感のある案内標識や説明看板の設置／これらを活用した速野の歴史探訪プログラムを作成

●取り組み2 歴史の語り部の発掘と活躍の場の創出

お年寄りや地元の研究者が速野の歴史の語り部（歴史ガイド）となり、地域の行事や学校教育など活躍できる機会を設定／地区外からの来訪者に対する語り部の案内・紹介窓口の設置

●取り組み3 地域の歴史を学び伝える環境づくり

地域の若年世代が親子で楽しみながら地元の歴史を学べるスタンプラリーやウォークラリー等の開催

プロジェクト7 地域のみんで集い盛り上がるプロジェクト

速野学区の各自治会が連携し、古くから伝わる祭りの復興やびわこ地球市民の森での交流イベント開催などを通して、新旧の学区民の交流、世代間交流を推進し、活性化をめざします。

●取り組み1 受け継がれてきた伝統の祭りを時代にあわせたかたちで継続

古くからの祭りの精神を伝承しつつ、昔からの実施方法にとらわれず、隣接地区の人や旅行者から神輿の担ぎ手などを募る／神輿の担ぎ手のいない自治会が集まり「神輿祭り」を開催／各自治会のお祭りの連携を図る（テーマを設定するなど）

●取り組み2 新旧の学区民が一同に会する魅力あるイベントの開催

びわこ地球市民の森のスペースなどを活用し、学区民の集いや文化祭などの定例行事の規模拡大や、各種スポーツ大会など、様々な世代が一同に会することのできる新たな定例行事を開催する／速野に伝わるお満さんの伝説にちなみ、男性を対象としたたらい舟による競争イベントを開催する

●取り組み3 速野の祭りやイベントを対外的にPR

伝統的な祭りを学区外にPRし、特に若者に向けて、祭りでの神輿担ぎへの参加がかつよく魅力あることを伝え、担い手の確保につなげる／菜蓴盆、ずいき祭り、たらい神輿など、速野学区独特の伝統的祭事をPRし、学区外からの来訪者を増やす

プロジェクト8 速野の「うまいもん」を広めようプロジェクト

モリヤマメロンをはじめとする地元の農産物や、川や湖の淡水魚など、速野でとれる食材の魅力を学区内外の人々に広め、地域の第1次産業を活性化するため、地産地消を基本として新鮮・安全・作り手の顔の見える安心食材の普及を推進します。また地域に古くから伝わる食文化の継承と普及を推進します。

●取り組み1 湖魚・川魚の地産地消の促進

モロコ・鮒・ブラックバスなどの湖魚、川魚の新たなメニュー開発／湖魚、川魚の釣り体験とセットになったその場で魚を食べられる場の設置／湖魚、川魚料理のコンテストやグルメイベントの開催

●取り組み2 地元農産物の地産地消の促進

地元でとれた野菜の料理教室、品評会の開催、グルメイベントの開催／モリヤマメロンの販売だけでなく、メロンを使った商品（ケーキ、ゼリー、ジュースなど）の開発と、それを地元で味わえる喫茶、レストランの設置

●取り組み3 昔からの食文化の継承

鮒寿司、鯉料理、小魚のあめだき、正月のぜんざいなど、地域に古くから伝わる食材や調理法をお年寄りから学んだり、食する体験の場をつくる

プロジェクト9 守山の北の玄関おもてなしプロジェクト

琵琶湖大橋、湖周道路、取付道路が交差する湖南と、湖西・湖東地域の重要な交通結節点という地の利を活かし、守山市の北の玄関口として、また県内の様々な情報や物品そして人が集まる拠点として、行き交う車や人々が足を止めてくれるような魅力を創生します。

●取り組み1 幹線道路沿いに情報発信拠点（道の駅など）を整備

遊休地や既存の空き物件を活用して道の駅を設置し、地域の農産品や水産物の販売や食事の提供／「おうみんち」のように、地元の農産品の生産者が集える場の設置／「近江の中心」として、守山市、速野学区だけでなく、近江全体の特産品や地域情報を集めて販売、発信する

●取り組み2 速野の住民が守山市を代表する情報発信の担い手に

情報発信拠点において、速野の住民が守山市の情報発信の担い手として、地域の歴史や産業や観光資源（自然、景観、歴史資源など）をPRする。特に速野の隠れた名所などや穴場を紹介する

プロジェクト10 安心・安全にくらせるまちプロジェクト

子育て世代の若い家族やお年寄りが末永く安心して暮らせる地域をめざすため、住民同士の助け合いや見守り、高齢者の活動の場づくり、子育て支援活動など、住民同士の温もりのある互助活動を進めるとともに、日常生活の空間における安全性の確保、安心して外出できる環境を整備します。

●取り組み1 高齢者の活動・活躍の場づくり

高齢者を中心に住民が気軽に集える空間の整備（サロンなど）／地域の歴史案内や観光ガイドなど、速野に長く暮らす高齢者が活躍できる機会づくり

●取り組み2 地域の安全・安心創出活動

地域の安全・安心の創出に向け、自治会・婦人会・老人会といった地域組織と行政、警察、消防等との関係団体との連携・協力体制の充実など

●取り組み3 子どもも高齢者も安心して外出できる環境づくり

子どもの通学、通園路やお年寄りの散歩道などで「危ない」と感じる地点を、子どもから高齢者まであらゆる世代が集まって抽出し、「ヒヤリハットマップ」をつくる／車を自分で運転できない（あるいは免許を返納した）高齢者が気軽に外出できるよう、路線バスの通れない街路に小型のバスを走らせる

プロジェクト11 みんなで考えよう速野の未来プロジェクト

人口減少と高齢化が深刻な旧集落と人が増え続ける新集落の住民意識の差、世代間交流の希薄化、水環境や自然の保全、防犯・防災・安全確保など、速野学区の様々な課題を老若男女あらゆる学区民が共有し、5年後、10年後、さらに長期的将来の速野のまちづくりビジョンを学区民みんなで考える基盤をつくります。

●取り組み1 まちづくり組織の見直しと次代のリーダー育成

生涯学習等に偏りつつある既存のまちづくり組織の状況を、あらゆる年齢層の人が参加し将来ビジョンを議論できる組織に再編／次代を担う若手の学区民の中から、将来のまちづくりを進める上でのリーダーとなる人材を発掘し育ててゆくための仕組みづくり

●取り組み2 進取の気風を継承しつつみんなで考える将来ビジョン

速野の伝統である他学区に先駆けた様々な先進的取り組み、進取の気風を継承するため、学区や自治会組織の古い部分を見直し、風通しのよい若者や女性が参加しやすい組織に少しずつ改編

⑦ 中洲学区
 (1) 委員名簿

守山まると活性化プラン検討委員会学区別会議(中洲学区)委員名簿
 敬称略

No.	自治会	名前
1	新庄	中島 保男
2	新庄	川村 晃夫
3	新庄	中島 耕治
4	新庄	山口 幸子
5	服部	田中 勝次
6	服部	津田 昭憲
7	服部	大塚 唯昭
8	服部	石原 紀代子
9	立田	本城 眞佐一
10	立田	木村 穂
11	立田	井入 誠一
12	立田	深尾 あや子
13	幸津川	伊藤 五作
14	幸津川	樋上 隆
15	幸津川	下出 壽宏
16	幸津川	上路 美智代
17	小浜	中西 雅次
18	小浜	田中 弥
19	小浜	高倉 正
20	小浜	中島 てる子

事務局

- ・ 濱崎一志 (アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授)
- ・ 井入 秀一 ・ 木村 芳次 ・ 川上 かよ子
- ・ 坪内 稔夫 ・ 吉原 史雄
- ・ 田淵 誠一 ・ 山田 憲 ・ 前田 雅人

(2) 開催概要

■ 第2回

日 時	平成 25 年 7 月 15 日 (月・祝) 20 : 00~22 : 05
会 場	中洲会館
出 席 者	住民 19 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・学区の特徴、良い所を見つける ・地域のたからもの探し ・結果の発表・共有

■ 第3回

日 時	平成 25 年 8 月 21 日 (水) 20 : 00~22 : 00
会 場	中洲会館
出 席 者	住民 15 名 滋賀県立大学濱崎先生、学生 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの問題点や課題を洗い出し ・結果の発表・共有

■ 第4回

日 時	平成 25 年 9 月 25 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	中洲会館
出 席 者	住民 18 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・前回のふりかえり ・学区のまちづくりの取り組みを考える ・結果の発表・共有

■ 第5回

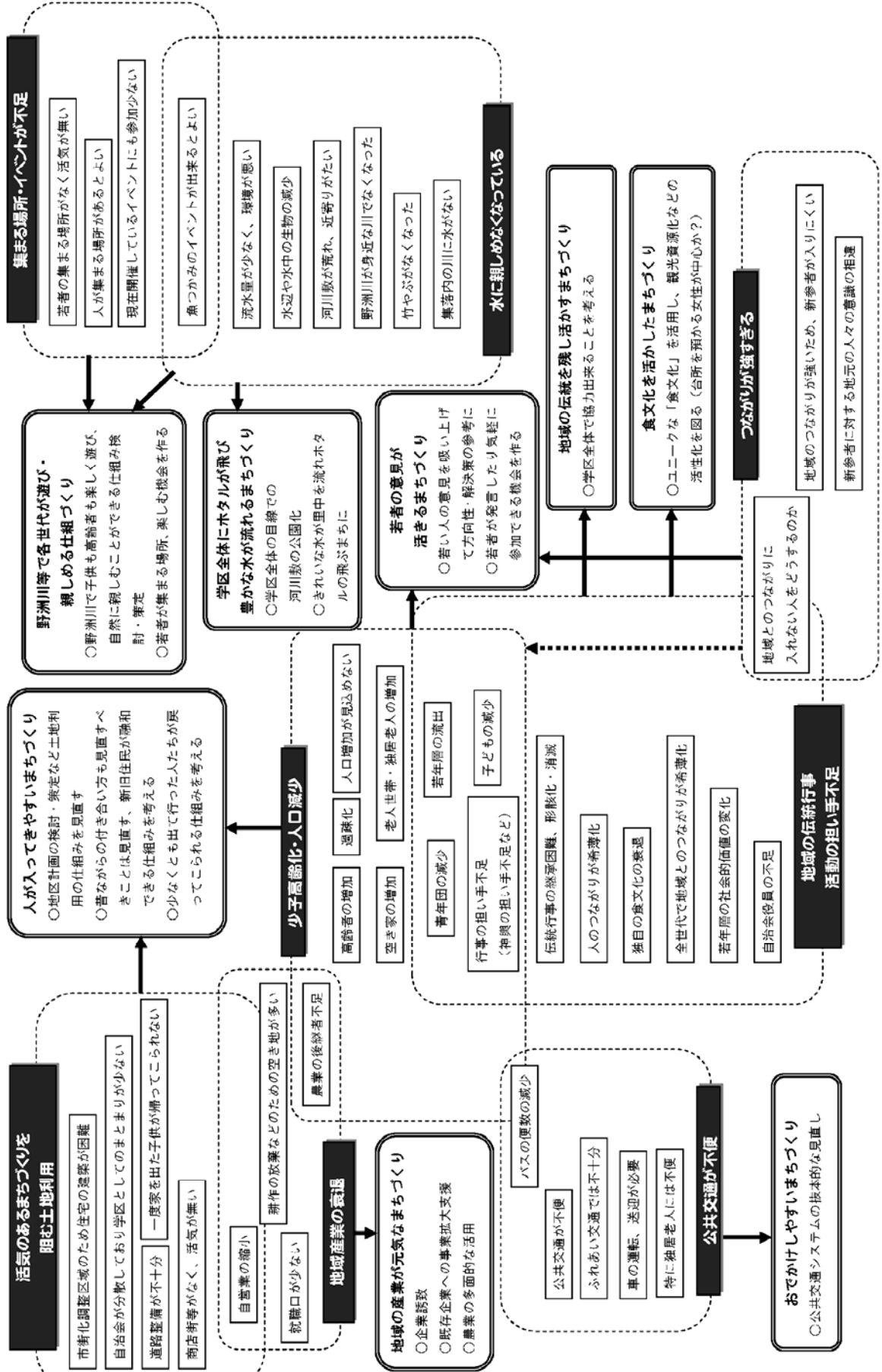
日 時	平成 25 年 11 月 20 日 (水) 19 : 30~21 : 30
会 場	中洲会館
出 席 者	住民 17 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択 ・重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換 ・結果の発表・共有

■ 第6回

日 時	平成 26 年 1 月 24 日 (金) 19 : 30~
会 場	中洲会館
出 席 者	住民 19 名 守山市、地域未来研究所
検討内容	・まるごと活性化プラン(案)の確認と修正 ・プラン実現の課題

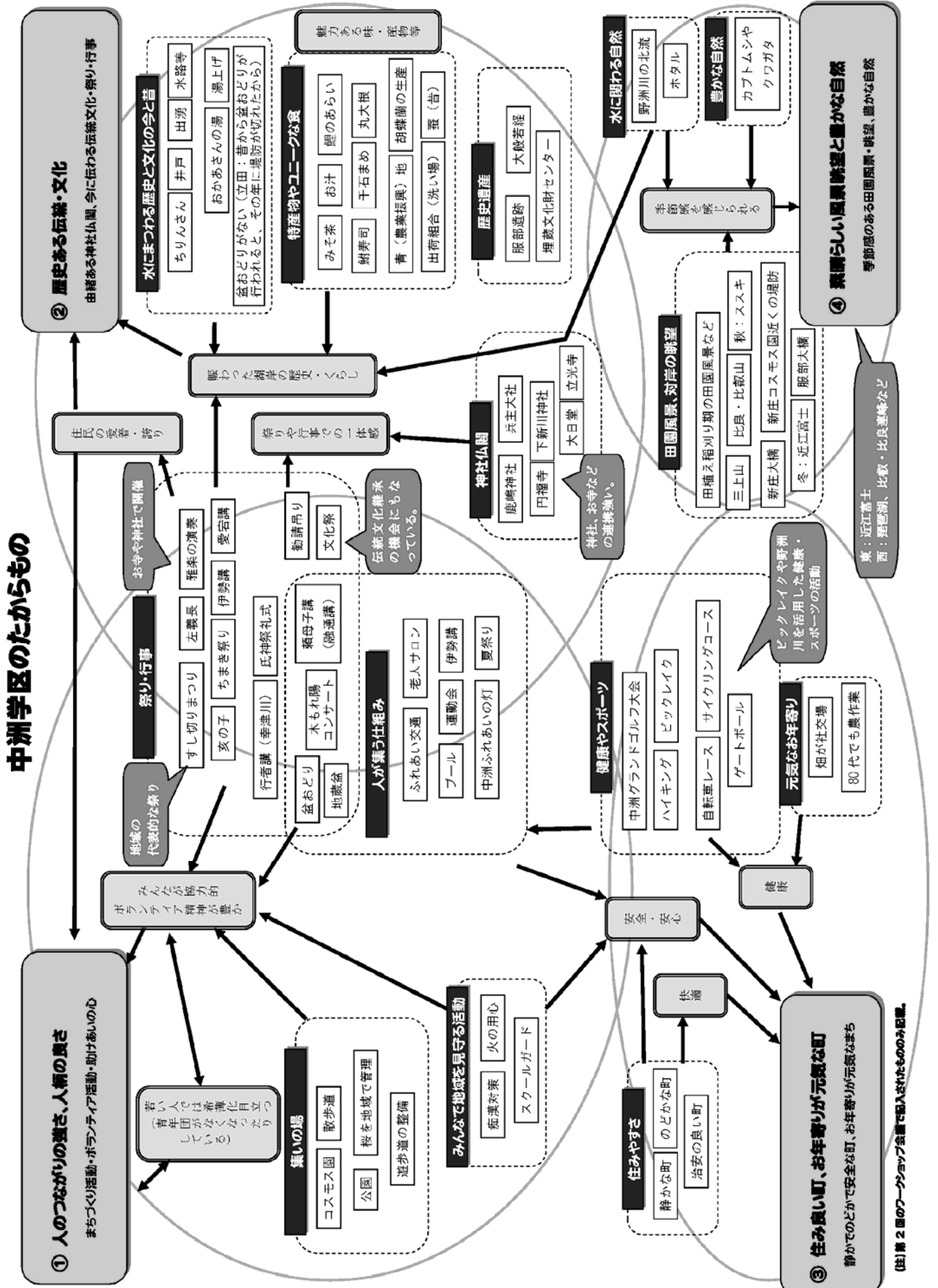
(3) 課題一覽

中洲学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回のワークショップ会議で導入されたもののみ図解。

(4) たからもの一覧



(5) まちづくりのプロジェクト

プロジェクト1 野洲川河川敷いきいきプロジェクト

荒れ放題で危険な状態となり川辺に降りられない野洲川の河川敷を、中洲学区に住まう様々な世代や学区外から訪れた人が集まり、楽しめる場所とするための取り組みを進めます。

●取り組み1 河川敷の公園化推進

中洲学区の住民にとって、また他地域より訪れる人にとってどのような場所となれば良いか、どんな施設（遊歩道、サイクリングロード、マラソンコース、バーベキュー場、カヌーやボートの船着き場など）が必要か協議／地元と行政が協働で計画づくり・実施を推進

●取り組み2 みんなで担う公園管理の仕組みづくり

河川敷の魅力を最大限引き出すため、植樹・植花、桜の管理などの活動／住民やボランティア、行政の役割分担により低コストで継続して維持できる仕組みづくりを検討

プロジェクト2 野洲川の伏流水再生プロジェクト

野洲川の伏流水を里中に流し、昔から育まれてきた里中に流れる水に関わる歴史や文化を取り戻し、次世代に引き継げるような環境を整備します。

●取り組み1 伏流水の取水方法検討

住民が活用しやすい伏流水の取水方法を検討（埋渠できれいな水を下流域の右岸左岸近くまで引き、そこに水瓶をつくり里中河川常時水を流す、など）／地元と行政が協働で計画づくり・実施を推進

●取り組み2 里中河川沿いの景観づくり

川沿いに花を植えるなど、良い景観づくりに取り組む

●取り組み3 伏流水を活用した事業の実施

自治会単位や学区全体で水路や湧水を活用した事業を実施

プロジェクト3 野洲川に集まれ！イベントプロジェクト

世代間交流の場として、また野洲川に身近に触れる機会を作るため、野洲川河川敷などを活用したイベントを開催します。

●取り組み1 地域住民の交流活性化イベントの開催

字対抗ペーロン大会、イカダ下り、学区主催の「歩こう会」など、地元住民が参加し交流できるイベントの開催／河川敷に生えるヨシを使った環境学習やものづくりイベントなど、地域の子どもをターゲットとしたイベントの開催

●取り組み2 他地域からの集客を目的とした大規模イベントの開催

他からの集客を主とするサイクリングレースやカヌー大会などの開催

プロジェクト4 学区内外の人が集まる交流プロジェクト

中洲学区住民同士の交流、または他地域の住民と交流する機会を創出することで、中洲学区へ人が集まりにぎわいや活力を生み出します。

●取り組み1 地域内交流イベント

自然を活かしたカブトムシを捕るイベント、学区全体の運動会、守山市民プールを活用した中洲住民が集まる「場」の創出

●取り組み2 地域外交流イベント

「中洲ふれあいの灯」を守山市の一大イベントにする取り組み／環境センターを活用し、廃熱利用による温浴施設整備／「ホッ」とするまちを目指し、集落毎にもてなしサービスを提供（名産品の果物の提供など）／外から来た人向けに案内板の作成、オリジナルキャラクターの作成

プロジェクト5 ビックレイク活用プロジェクト

守山市内有数のスポーツ施設であるビックレイクにて、スポーツ大会などで訪れる方へ中洲学区のPRイベントや特産品販売などといったイベントを開催し、地域の産業活性化に取り組みます。

●取り組み1 中洲学区の特産品販売

サッカーの応援などで来る人に、地域で取れた野菜や果物、特産品（草木染め）やお弁当の販売

●取り組み2 交通アクセス利便性向上

ビックレイクへの公共交通アクセス利便性向上に取り組む

プロジェクト6 歴史・食文化活性化・PRプロジェクト

非常に古い歴史を持つすし切りまつり、また鮎寿司など水にまつわるユニークな食文化をPRするとともに観光化や事業化を進めます。また、失われつつある独特の食文化を次の世代に継承する事業にも取り組みます。さらに、遺跡文化を活用した「学び」プロジェクトも進めます。

●取り組み1 すし切りまつり、鮎寿司のPR活動

滋賀を代表する食文化の鮎寿司、また守山市でも有数のお祭りであるすし切りまつりの積極的なPRや観光化、事業化

●取り組み2 歴史的な食文化の継承

若年代や子どもに歴史的な食文化を伝える活動

●取り組み3 遺跡文化の継承

服部遺跡や埋蔵文化財センター、「遺跡まつり」の開催/遺跡、遺構などの復元物作成など、歴史に親しみながら遊び学べるようにする取り組み

プロジェクト7 農業を元気にするプロジェクト

農業が盛んという特色を活かし、中洲ブランドの特産品の開発、販売を行うことで、農業を活性化するとともに地産地消の推進、そして中洲学区のPRに貢献します。

●取り組み1 中洲ブランド特産品の作成

新たなブランド特産品の開発、守山メロンのさらなるPR、観光農園整備

●取り組み2 地産地消の推進

学校給食への地元食材提供を通じて地産地消の推進や食育に貢献

●取り組み3 直売所の整備

J A中洲支店の店舗を活用した直売所、フルーツランドの道の駅化

●取り組み4 体験型農業・レンタル畑

農業体験イベント、休耕田を一般の方にレンタル

プロジェクト8 企業誘致・過疎対策プロジェクト

少子高齢化や人が中洲学区を出て行く状況への対策として、住宅地の整備や働く場をつくるための企業誘致に取り組み、人が容易に入ってくる、戻ってこられる環境を整備します。

●取り組み1 住宅地の整備

休耕田などでの宅地整備、憩いの場として公園整備/地区計画制度の策定

●取り組み2 企業誘致・活性化

企業誘致や中洲にある既存企業の事業拡大支援

プロジェクト9 安心して暮らせる公共交通を考えるプロジェクト

中洲は守山市の中でも特に高齢化が進んでいる地域であるため、今後運転が困難になった場合に日々の移動を支えることになる公共交通の見直しに取り組みます。

●取り組み1 現在の公共交通の改善

バスやタクシーなどの公共交通利用に対して住民の負担が小さくなるような制度の検討

●取り組み2 ふれあい交通の見直し・もーりーカーの活用

既存サービスの課題検討や見直しの実施

プロジェクト10 元気なシニア世代の活用プロジェクト

高齢でも現役で農業に従事、地域の神社を守り、祭り事や自治会のまちづくり活動に参加されているなど、元気なシニア世代の方が活躍できる仕組みや機会をつくります。

●取り組み1 シニア世代の交流促進

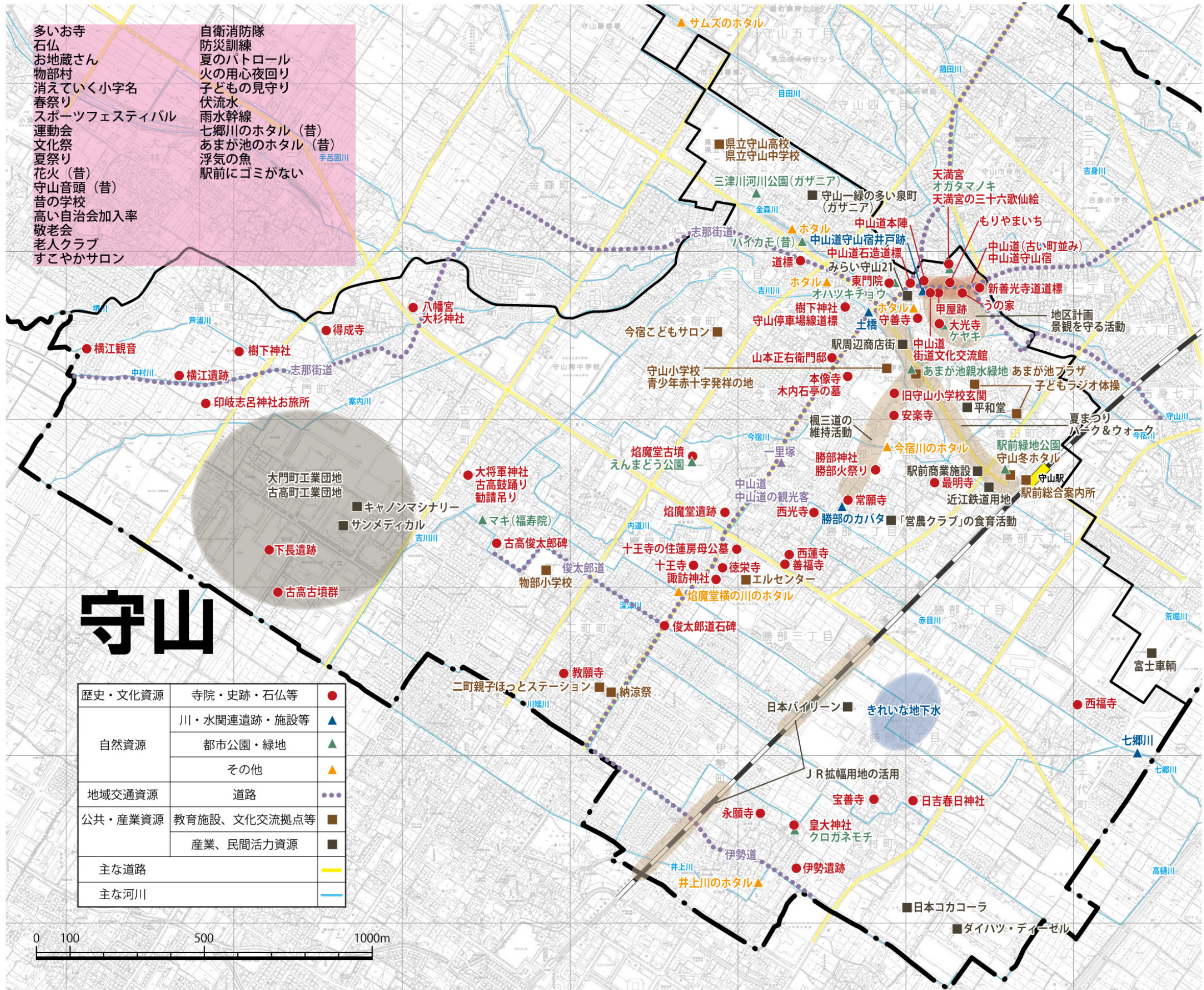
高齢者が集い楽しみ、活動などの情報共有できる場の整備

●取り組み2 お助けデータベース

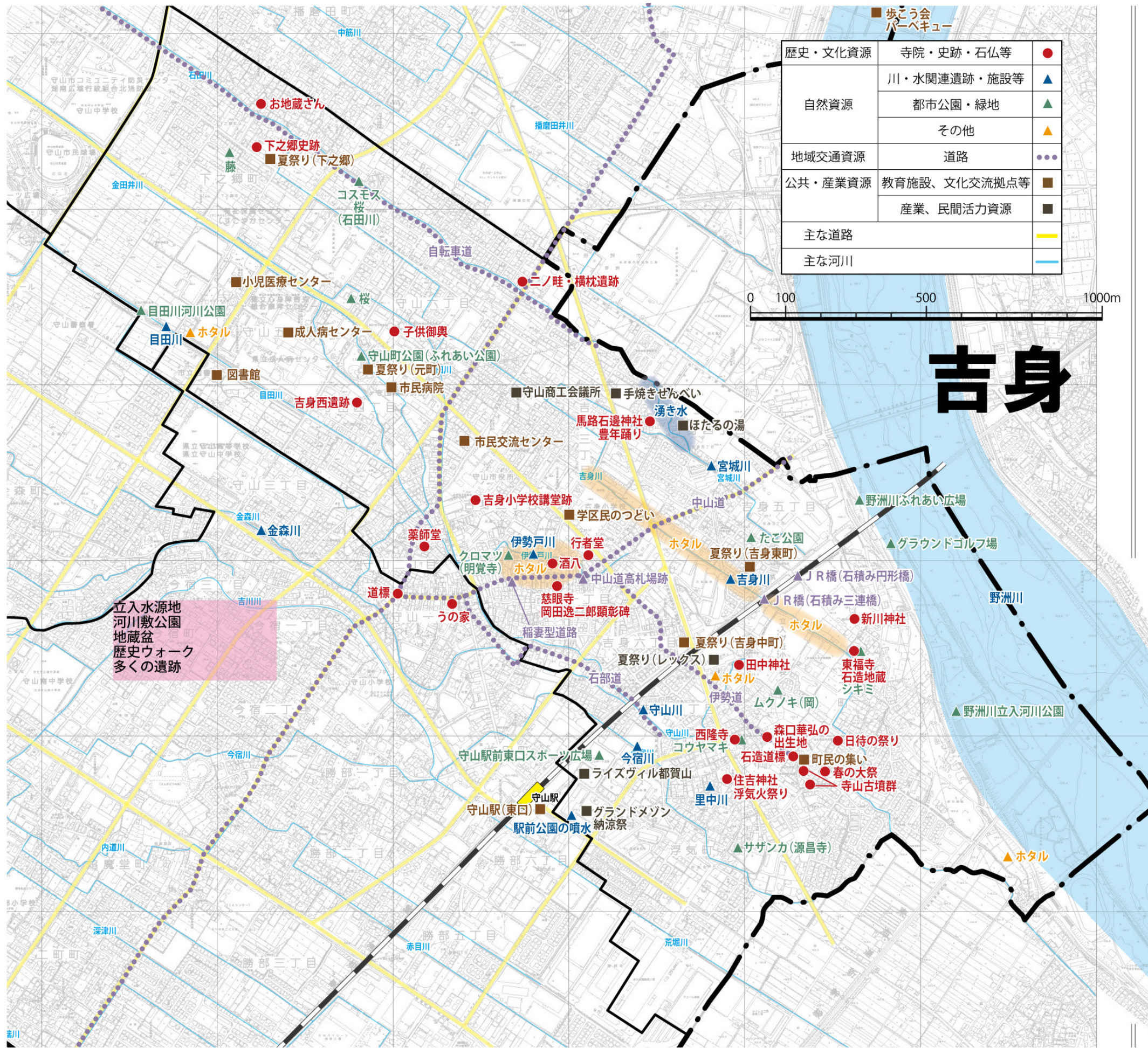
シニア世代の方が実施されている活動と、困っている方の情報をマッチングするためにデータベースを作成

2.3 参考
① たからものマップ

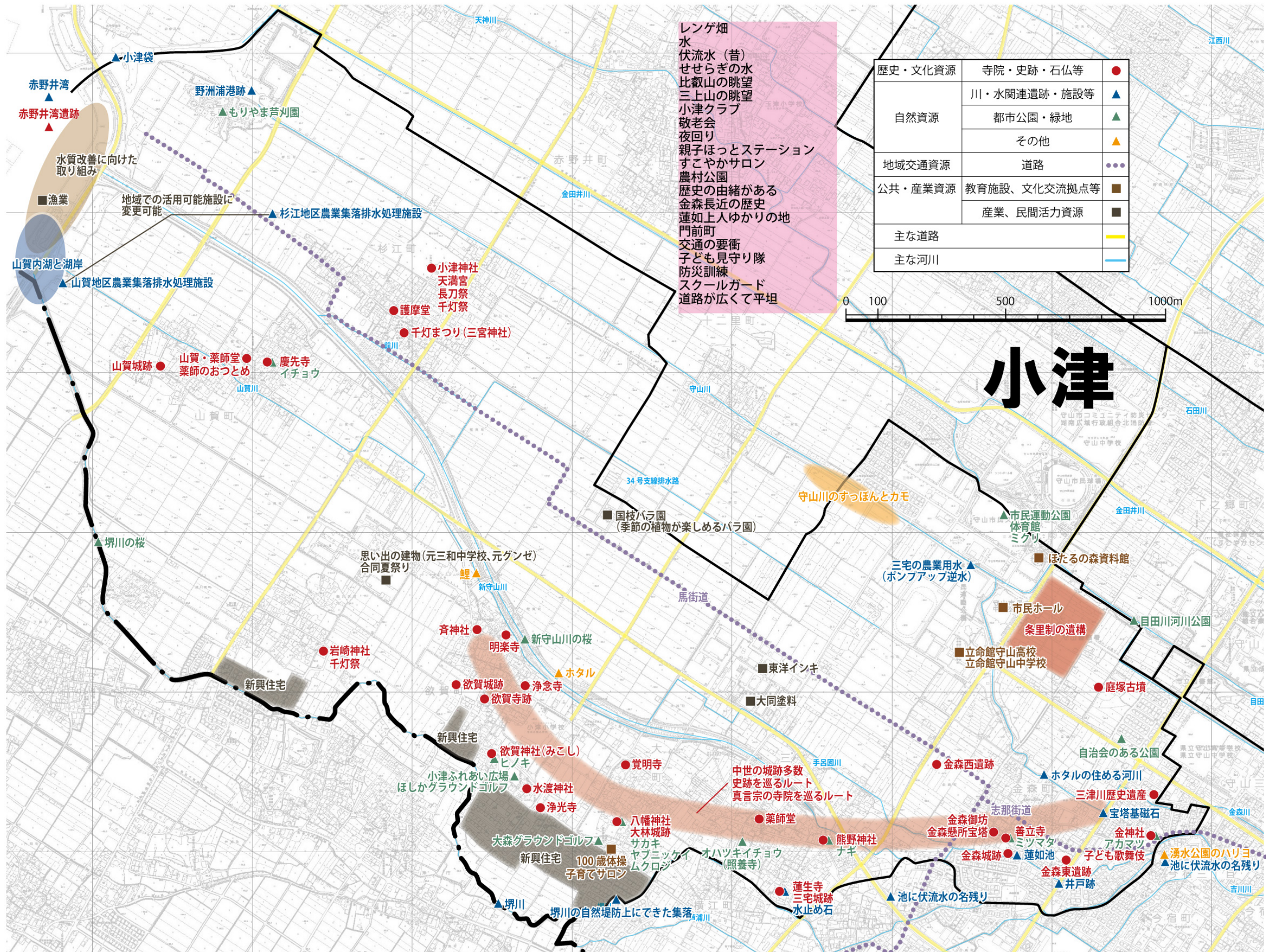
守山学区



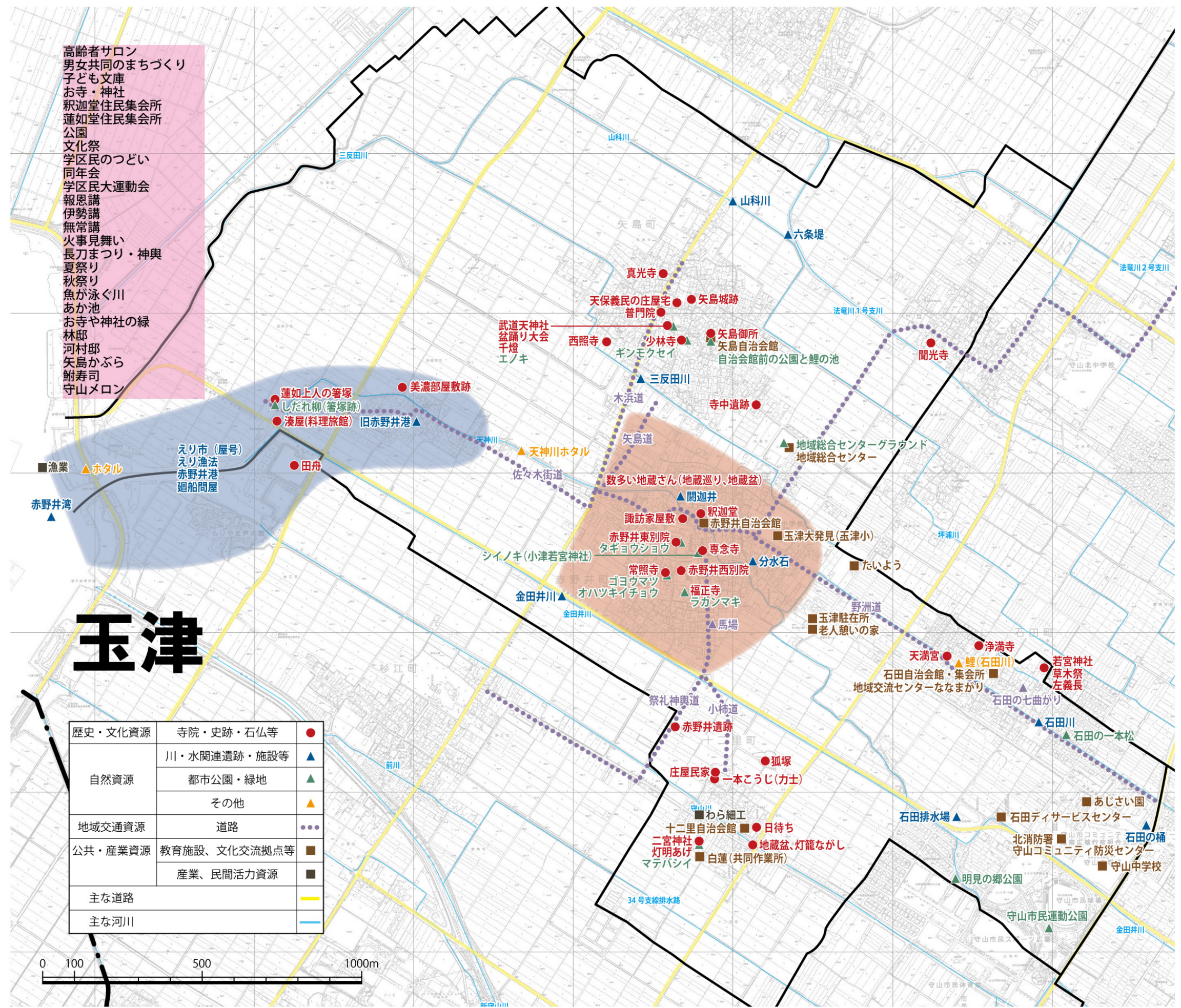
吉身学区



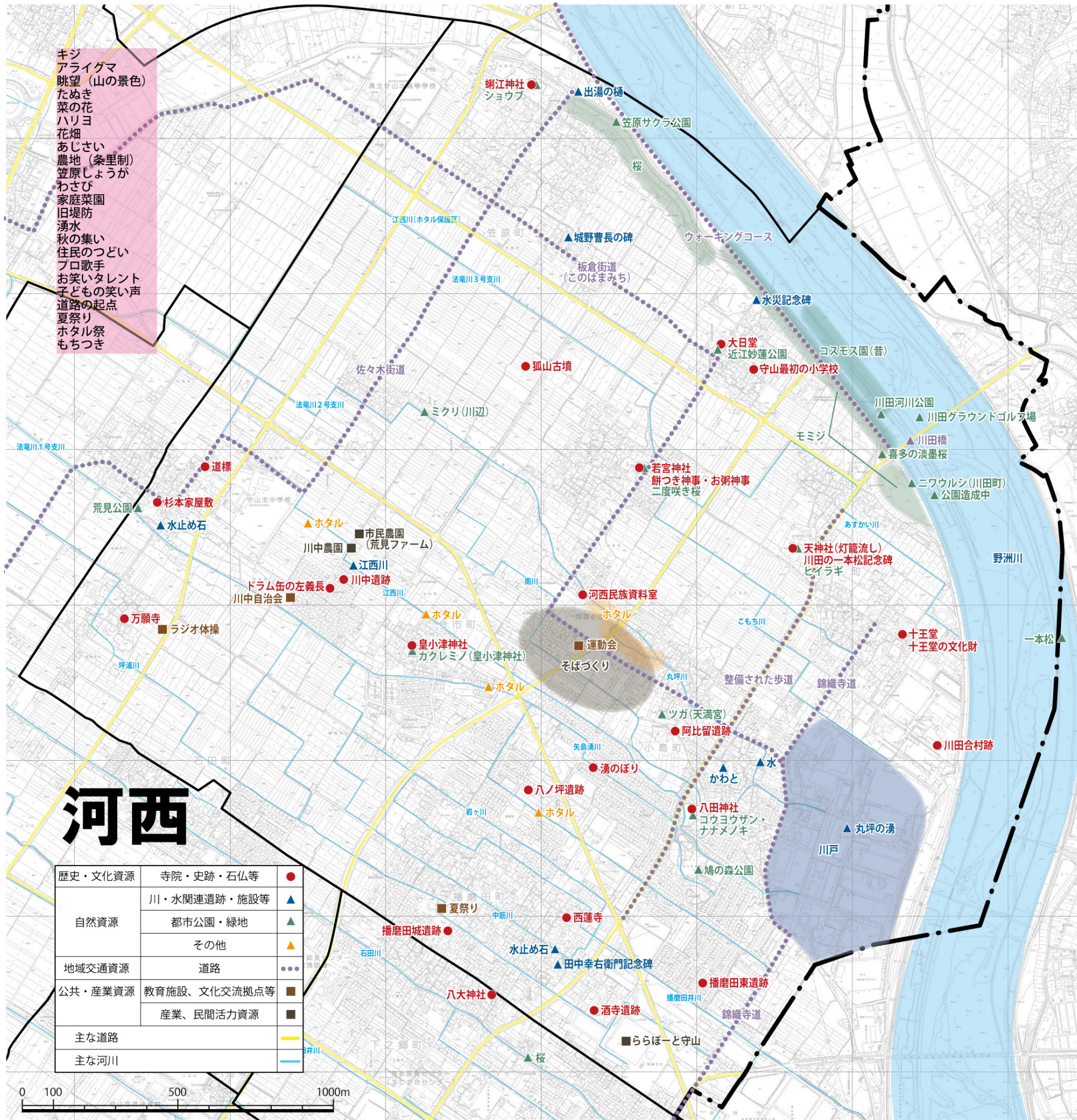
小津学区



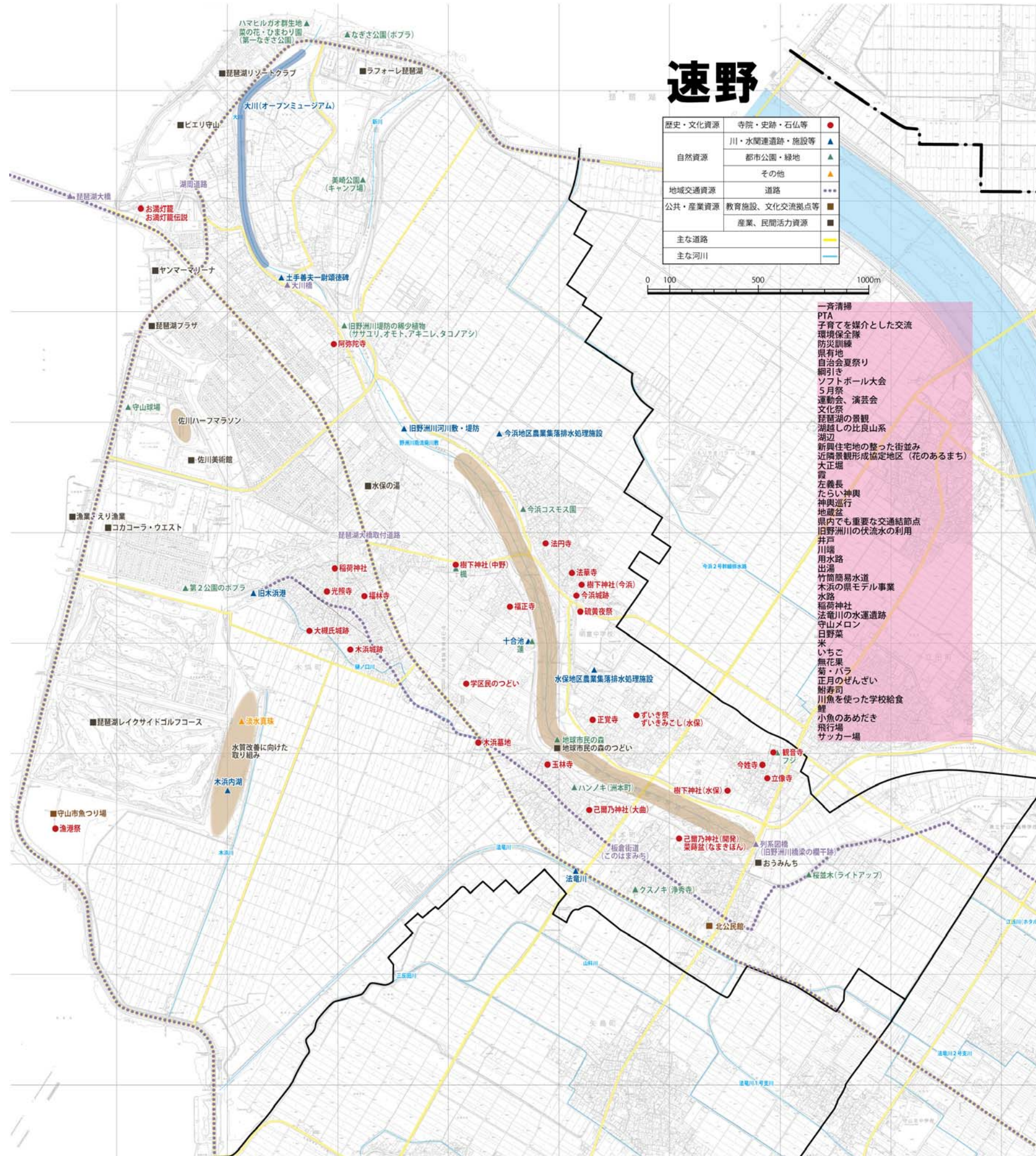
玉津学区



河西学区



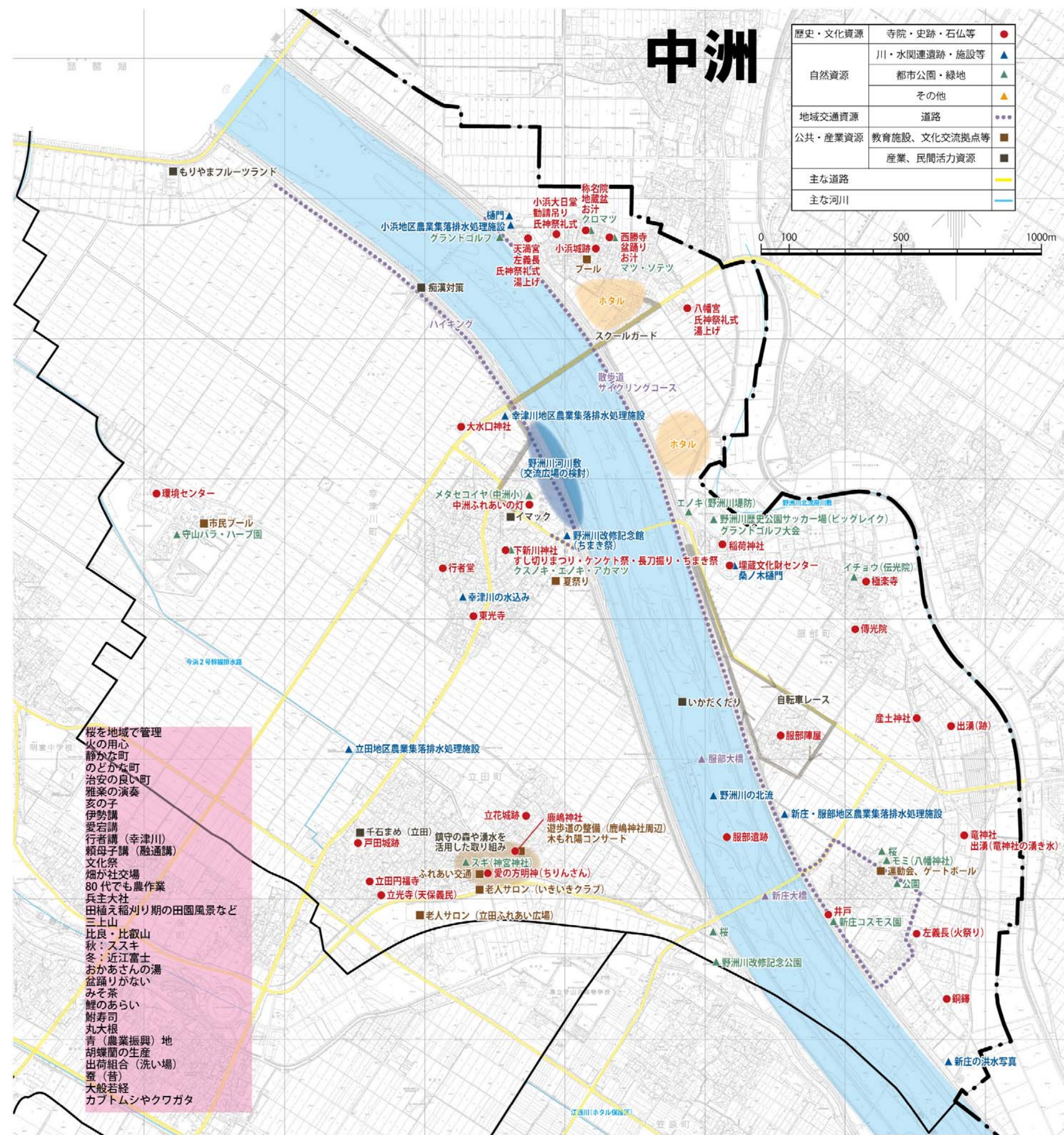
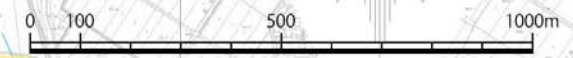
速野学区



中洲学区

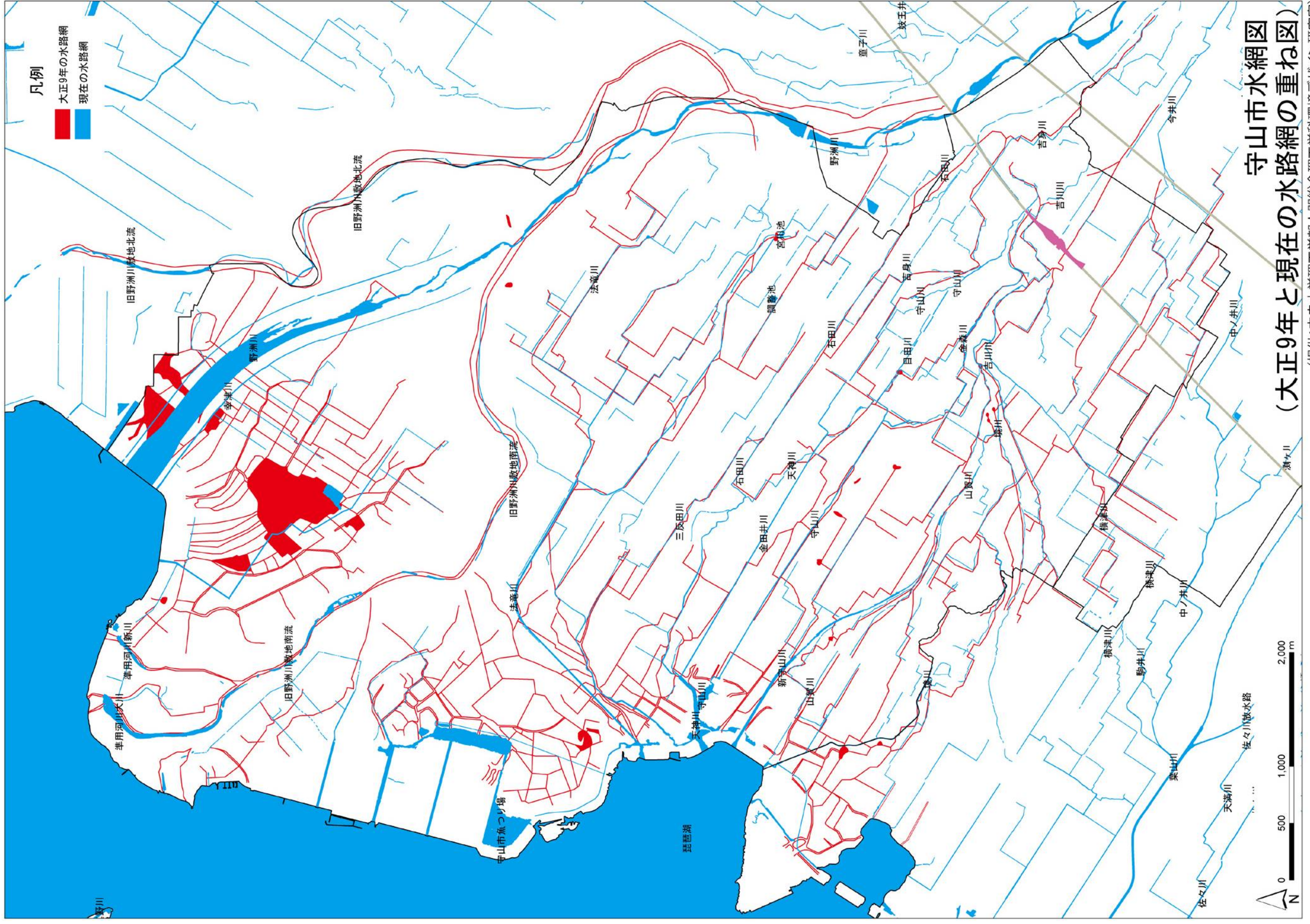
中洲

歴史・文化資源	寺院・史跡・石仏等	●
自然資源	川・水関連遺跡・施設等	▲
	都市公園・緑地	▲
	その他	▲
地域交通資源	道路	●●●
公共・産業資源	教育施設、文化交流拠点等	■
	産業、民間活力資源	■
主な道路		—
主な河川		—



桜を地域で管理
火の用心
静かな町
のどかな町
治安の良い町
雅楽の演奏
亥の子
伊勢講
愛宕講
行者講 (幸津川)
頼母子講 (融通講)
文化祭
畑が社交場
80代でも農作業
兵主大社
田植え稲刈り期の田園風景など
三上山
比良・比叡山
秋：スキ
冬：近江富士
おかあさんの湯
盆踊りがない
みそ茶
鯉のあらい
鮎寿司
丸大根
青 (農業振興) 地
胡蝶蘭の生産
出荷組合 (洗い場)
登 (音)
大般若経
カブトムシヤクワガタ

② 市内を流れる河川の水網図





—まるごと活性化で つなぐ、守山

The Garden City